

伊勢志摩サミット三重県民会議 開催結果報告会

事項書

日時：平成28年6月20日（月）

14:00～15:00

場所：津都ホテル 伊勢の間

開会

会長挨拶

報告

1. 公式行事等について

- (1) G7サミットの日程、成果文書等
- (2) 配偶者プログラム
- (3) 県産食材等の採用実績
- (4) 贈呈品

2. 県民会議事業等について

- (1) 公共交通機関の運休及び交通総量抑制対策
- (2) 各国先遣隊歓迎夕食会
- (3) 各国首脳等と県民との交流～世界との絆づくり～
- (4) 関係者の宿泊及びシャトルバス輸送
- (5) 外国語案内ボランティア
- (6) ジュニア・サミット in 三重
- (7) 三重情報館及び国際メディアセンター完成記念祝典
- (8) 国際メディアセンターアネックス公開
- (9) 三重のおもてなしバッグ
- (10) プレス等を活用した情報発信
- (11) 協賛、応援、寄附の実績

3. 伊勢志摩サミット終了後の取組について

会長挨拶

閉会

配布資料

- 【資料 1-1-1】 伊勢志摩サミット関連日程一覧
- 【資料 1-1-2】 G7伊勢志摩首脳宣言（骨子）
- 【資料 1-1-3】 G7首脳等に対する歓迎行事等について
- 【資料 1-2】 配偶者プログラムの実施結果について
- 【資料 1-3】 県産食材等の採用実績について
- 【資料 1-4】 贈呈品について

- 【資料 2-1】 公共交通機関の運休等及び交通総量抑制対策について
- 【資料 2-2】 各国先遣隊歓迎夕食会について
- 【資料 2-3】 各国首脳等と県民との交流について～「世界との絆づくり」～
- 【資料 2-4-1】 関係者の宿泊について
- 【資料 2-4-2】 プレス用シャトルバス運行について
- 【資料 2-5】 外国語案内ボランティアについて
- 【資料 2-6】 ジュニア・サミットの開催結果について
- 【資料 2-7-1】 三重情報館における来場者数、展示コンテンツ等について
- 【資料 2-7-2】 国際メディアセンター完成式及び完成記念祝典について
- 【資料 2-8】 国際メディアセンターアネックスの公開について
- 【資料 2-9】 「三重のおもてなしバッグ」について
- 【資料 2-10】 プレス等を活用した情報発信について
- 【資料 2-11】 協賛、応援、寄附の実績について
- 【資料 2-12】 県民会議の取組を振り返って

- 【資料 3】 伊勢志摩サミット終了後の取組について

伊勢志摩サミット関連日程一覧

	首脳プログラム	配偶者プログラム	二国間会談等	県及び県民会議等が関与した行事
5/24 (火)	午前			
	午後			
	夜		・日加首脳会談	
5/25 (水)	午前			
	午後			
	夜		・日英首脳会談 ・日米首脳会談 ・日米共同記者会見	・ G 7 首脳のホテルでの出迎え (石垣副知事、大口志摩市長が出迎え) 【於：志摩観光ホテル】
5/26 (木)	午前	・総理による G 7 首脳出迎え【於：伊勢神宮】 ・伊勢神宮訪問、記念植樹	・伊勢神宮訪問	・ G 7 首脳のホテルでの出迎え (石垣副知事、大口志摩市長が出迎え) 【於：志摩観光ホテル】 ・ G 7 首脳の伊勢神宮での出迎え (鈴木知事、鈴木伊勢市長が出迎え) ・ G 7 首脳による記念植樹 (鈴木知事が参加) 【於：伊勢神宮】
	昼	・セッション 1 (G7 の価値・結束、世界経済) : ワーキングランチ 【於：志摩観光ホテル】	・総理夫人主催昼食会 【於：杉風荘】	《世界との絆づくり》 ・英国同行プレスによる皇學館大学生との交流 【於：皇學館大学】 《配偶者プログラム》 ・総理夫人主催昼食会 (鈴木知事が出迎え) 【於：杉風荘】
	午後	・サイドイベント (自動走行車・燃料電池自動車のアレゼンテーション) 【於：志摩観光ホテル】 ・ G 7 首脳集合写真【於：志摩観光ホテル】 ・セッション 2 (貿易) ・ 3 (政治・外交) 【於：志摩観光ホテル】	・ミキモト真珠島訪問 ・記念植樹 【於：志摩観光ホテル】	《配偶者プログラム》 ・ミキモト真珠島訪問 (鈴木知事が参加) ・記念植樹 (鈴木知事が参加) 【於：志摩観光ホテル】
夜	・総理夫妻主催カクテル 【於：志摩観光ホテル】 ・サイドイベント (テロと文化財) 【於：志摩観光ホテル】	・総理夫妻主催カクテル 【於：志摩観光ホテル】 ・総理夫人主催夕食会 【於：志摩観光ホテル】	・愛知・名古屋歓迎レセプション (石垣副知事が出席)【於：名古屋観光ホテル】	

		・セッション4 (政治・外交): ワーキング デイナー【於: 志摩観光ホテル】 ・セッション5 (気候変動、エネルギー) 【於: 志摩観光ホテル】 ・総理によるアウトリーチ国首脳出迎え 【於: 志摩観光ホテル】 ・アウトリーチ・セッション1 (アジアの安 定と繁栄) 【於: 志摩観光ホテル】 ・G7及びアウトリーチ国首脳集合写真 【於: 志摩観光ホテル】	・国際メディアセンター 視察	・安倍総理とインドネシア 大統領との懇談	◀世界との絆づくり▶ ・ベトナム閣僚による松阪市訪問 (石垣副知事が参加) 【於: 松阪もめん手織りセンター、旧長谷川邸等】 ◀配偶者プログラム▶ ・国際メディアセンター視察 (鈴木知事が案内及び参加)
5/27 (金)	昼	・アウトリーチ・セッション2 (開発、アフ リカ): ワーキングランチ 【於: 志摩観光ホテル】 ・議長記者会見【於: 賢島宝生苑】	・総理夫人主催昼食会 【於: 志摩観光ホテル】	・日米両首脳による 広島訪問	◀世界との絆づくり▶ ・OECD事務総長による伊勢神宮訪問 (石垣副知事が案内) ・IMF専務理事によるミキモト真珠島訪問 ・ベトナム首相による伊勢神宮訪問 (鈴木知事が案内)
	午後				
5/28 (土)	午前			・日・チャド首脳会談 ・日・バングラデシュ首脳 会談 ・日・スリランカ首脳会談 ・日・パプアニューギニア 首脳会談	
	昼			・日・ラオス首脳会談及び 総理主催昼食会	
	午後			・日・ベトナム首脳会談	

※ アウトリーチには、チャド、インドネシア、スリランカ、バングラデシュ、パプアニューギニア、ベトナム、ラオス、国際連合 (UN)、国際通貨基金 (IMF)、世界銀行 (WB)、経済協力開発機構 (OECD)、アジア開発銀行 (ADB) が参加。

※ 国際メディアセンター (IMC) に設置した三重情報館については、5月24日 (火) から28日 (土) まで開設 (24日 (火) はプレオープン)。

G7伊勢志摩首脳宣言(骨子)

1 前文

- 2016年5月26日及び27日に伊勢志摩でG7首脳会合を開催。世界的な成長は、低成長のリスクが残る中、依然として緩やかであり、かつ、潜在成長力を下回っている。暴力的過激主義、テロ攻撃その他の課題は、既存のルールに基づく国際秩序並びに全人類に共通する価値及び原則への深刻な脅威。G7は、国際的な取組を主導する特別な責任を有する。また、自由、民主主義、法の支配及び人権の尊重を含む共通の価値及び原則によって導かれるグループとして引き続き結束。世界の平和、安全及び繁栄を確保するための主要な課題の解決に向けた道筋を我々の行動を通じて明示。

2 G7伊勢志摩経済イニシアティブ

- 強固で、持続可能な、かつ、均衡ある成長に貢献するため、世界経済、移民及び難民、貿易、インフラ、保健、女性、サイバー、腐敗対策、気候、エネルギーの分野でのコミットメントを発展。

3 世界経済

(1)世界経済

<世界経済の状況>

- 世界経済の回復は継続しているが、成長は引き続き緩やかでばらつきがある。また、前回の会合以降、世界経済の見通しに対する下方リスクが高まってきている。我々は、新たな危機に陥ることを回避するため、経済の強靭性を強化してきているところ、この目的のため適時に全ての政策対応を行うことにより現在の経済状況に対応するための努力を強化することにコミット。

<政策的対応>

- 各国の状況に配慮しつつ、強固で、持続可能な、かつ、均衡ある成長経路を迅速に達成するため、我々の経済政策による対応を協力して強化すること及びより強力な、かつ、均衡ある政策の組合せを用いることにコミット。
- 債務を持続可能な道筋に乗せていくための取組を継続しつつ、世界的な需要を強化し、供給側の制約に対処するため、全ての政策手段—金融、財政及び構造政策—を個別にまた総合的に用いることにコミット。
- 3本の矢のアプローチ、すなわち相互補完的な財政、金融及び構造政策の重要な役割を再確認。
- 財政戦略を機動的に実施し、及び構造政策を果敢に進めることに関し、G7が協力して取組を強化することの重要性について合意。
- 過剰な生産能力は、世界的な影響を有する構造的な課題。
- 為替レートの過度な変動や無秩序な動きは、経済及び金融の安定に対して悪影響を与えうる。

(2)金融規制改革

- G20金融セクター改革の課題の適時、完全かつ統合的な実施を支持。

(3) 税と透明性

- BEPSパッケージの着実な、一貫性のある足並みのそろった実施は極めて重要。全ての関連・関心のある国・地域がBEPSパッケージ実施にコミットし、新たな包摂的な枠組みに参加することを奨励する。
- 実質的所有者情報の透明性の改善は、腐敗、脱税、テロ資金供与及び資金洗浄防止のために極めて重要。透明性に関する国際基準の全ての国・地域による実施を求める。

(4) 貿易

- 貿易及び投資は、成長、繁栄、持続可能な開発達成の主要な原動力。あらゆる形態の保護主義と闘うとのコミットメントを再確認。
- 過剰生産能力が経済、貿易及び労働者に与える負の影響を認識。市場機能の向上及び調整を通じてこの問題に迅速に対応することにコミット。
- 環境物品に関する協定(EGA)の本年9月のG20杭州サミットまでの妥結を目指す。
- 各TPP署名国に対し、国内手続を完了することを奨励。2016年のできる限り早期に日EU・EPAの大筋合意に達することに向けた、日本とEUの強固なコミットメントを歓迎。

(5) 質の高いインフラ

- 質の高いインフラ投資の推進のため、「質の高いインフラ投資の推進のためのG7伊勢志摩原則」に沿ったインフラ投資を実施するよう努力。ステークホルダーにも同原則に沿った投資及び支援を奨励。

(6) 保健

- 「国際保健のためのG7伊勢志摩ビジョン」に基づき行動することにコミット。公衆衛生上の緊急事態への対応強化のための国際保健の枠組み強化。
- 強固な保健システム及び危機へのより良い備えを有したUHC達成に向けた取組を促進。このため途上国の保健システム強化支援や母子保健からアクティブ・エイジング(活動的な高齢化)までライフ・コースを通じた保健サービスを確保。
- 薬剤耐性(AMR)への対応強化。企業にインセンティブを与える取組等を提唱。

(7) 女性

- 質の高い教育や訓練等を通じた女性の能力開花を支援。そのための「G7行動指針」を採択。「女性の理系キャリア促進のためのG7イニシアティブ(WINDS)」を立ち上げ。
- 女性に対するあらゆる形態の暴力への対応強化にコミット。国連決議に基づく「国別行動計画」の策定を支援するとともに平和・安全保障分野における女性の活躍を推進。

(8) サイバー

- 開かれた、相互運用可能な、信頼できる、かつ、安全なサイバー空間を支持。「サイバーに関するG7の原則と行動」に合意。サイバー空間の安全及び安定促進のためG7作業部会を立ち上げ。

(9) 腐敗対策

- 腐敗と戦う集団的及び個別的行動は、経済成長、持続可能な開発並びに平和及び安全の維持にとり決定的に重要。「腐敗と戦うためのG7の行動」に合意。

4 政治外交

(1) テロ・暴力的過激主義

- テロ対策に関し、国際社会において主導的役割を発揮。寛容の精神や対話を促進する。テロ対策における各国の能力構築を支援。「G7テロ・暴力的過激主義対策行動計画」に合意。

(2) 難民

- 難民の人道上的影響及びその根本原因に対処することが最優先事項。影響を受けた地域の社会経済発展を後押し。難民ホスト国を支援。移民の密入国や人身取引等との闘いを継続。

(3) 中東

- ジュネーブ合意に基づくシリアの政権移行を呼びかけ。安定・復興への支援にコミット。イラクの改革と国民和解を支援。G7は、36億ドル以上の二国間の支援及び他の金融支援を結集。ISILから解放された地域の安定化支援を呼びかけ。イランの核合意の履行を歓迎。イランに対し、地域における建設的な役割を呼びかけ。アフガニスタン、リビア及びイエメン等の平和と安定に向けた取組等にコミット。

(4) 北朝鮮

- 北朝鮮による1月の核実験及び弾道ミサイル技術を用いた発射を最も強い表現で非難。北朝鮮に対し、安保理決議及び六者会合共同声明を遵守し、今後核実験、発射その他の挑発行動を行わないことを要求。拉致問題を含む国際社会の懸念に直ちに対応するよう強く求める。

(5) ウクライナ・ロシア

- ロシアのクリミア併合を非難。ミンスク合意の完全な履行を強く支持。露のミンスク合意履行と対露制裁は明確に関連。露との対話の重要性を認識。ウクライナの改革を支持。

(6) 海洋安全保障

- 国際法に基づいて主張を行うこと、力や威圧を用いないこと、紛争解決には、仲裁手続を含む司法手続によるものを含む平和的手段を追求すべきことの重要性を再確認。東シナ海・南シナ海の状況を懸念し、「海洋安全保障に関するG7外相声明」を支持。

(7) 軍縮・不拡散

- 核兵器のない世界に向けた環境を醸成するとのコミットメントを再確認。「広島宣言」を支持。

(8) 国連安保理改革

- 国連を強化し、より効果的・効率的にすることの重要性・必要性を再確認し、安保理改革を含む国連改革の重要性に留意。

5 気候変動・エネルギー・環境

(1) 気候変動

- G7は、引き続き指導的な役割を担い、パリ協定の2016年中の発効という目標に向けて取り組みつつ、同協定の可能な限り早期の締結に必要な措置をとることにコミット。全ての締約国に、同様の対応を求める。
- 主要排出国を含む全ての国によるパリ協定の、効果的な、かつ、透明性のある実施のための詳細ルールについて合意するため建設的に関与することを奨励。官民双方からより多くの気候基金を提供し、動員するための努力を継続するとともに、G7以外の国にも資金の提供を奨励。

(2) エネルギー

- 質の高いインフラ及び上流開発への投資持続を奨励。クリーンでエネルギー効率の高い製品、設備等への投資にコミット。透明性及び柔軟性がある、良く機能する天然ガス市場を強化する取組を継続。
- 福島原発の廃炉及び汚染水対策に関する着実な進展を歓迎。原子力の利用に関し、安全性、セキュリティ及び不拡散において世界最高レベルの水準を確保し、知見や経験を共有することを求める。

(3) 資源効率・3R

- 「富山物質循環フレームワーク」を支持。海洋ゴミ対処のコミットメントを再確認。

6 開発

- 2030アジェンダの採択は、貧困削減及び持続可能な開発へのアプローチにおける新時代の幕開け。2030アジェンダの実施を、人間中心の、かつ、地球に配慮した形で、国内的及び国際的に進めることにコミット。
- アフリカにおける課題に対処することが、SDGsの実現のための中心となることを確認。初のアフリカ開催となるTICAD VIが、世界の理念をアフリカのための行動に移す重要な節目となることを確認。

7 結語

イタリア議長の下、2017年に会合することを楽しみにしている。

(了)

平成28年6月20日
伊勢志摩サミット三重県民会議事務局
開催支援課

G7首脳等に対する歓迎行事等について

サミット開催時におけるG7首脳等に対する県及び県民会議の歓迎行事等は以下のとおりです。

1 G7首脳のホテルでの出迎え

5月25日(水)夜及び26日(木)朝に、志摩観光ホテルに順次到着されたG7首脳9名(安倍首相、オバマ米大統領、オランダ仏大統領、メルケル独首相、キャメロン英首相、レンツィ伊首相、トルドー加首相、トゥスク欧州理事会議長、ユンカー欧州委員会委員長以下同じ。)を、石垣副知事、大口志摩市長が官房副長官等とともに出迎えました。

2 G7首脳の伊勢神宮での出迎え

5月26日(木)朝、伊勢神宮内宮参集殿に順次到着されたG7首脳9名を、鈴木知事、鈴木伊勢市長が岸田外務大臣等とともに出迎えました。

3 G7首脳による記念植樹

上記2の後、神苑前において、G7首脳と鈴木知事の10名で、記念植樹を行いました。



木は三重県の木「神宮スギ」で、知事の英語での合図により木に土を被せました。スコップを渡したり受け取ったりするお手伝いを、南勢志摩地域(伊勢市、志摩市、鳥羽市、南伊勢町、大紀町、玉城町、度会町)の小学生20名が行いました。

なお、記念植樹は、伊勢志摩サミット開催記念及び開催地としてのシンボルとするため、昨年10月9日、国に提案していたものです。

※5月29日(日)の参拝時間終了後、植樹された神宮スギ3本は別の場所に移し替えました。県民会議に譲渡いただいた2本については、現在、定植場所・時期を検討中です。

4 その他

(1) 愛知・名古屋歓迎レセプション

5月26日(木)夜、名古屋観光ホテルにおいて、伊勢志摩サミット開催に伴い愛知・名古屋に滞在されるアウトリーチ国首脳及び国際機関の代表を招待した歓迎レセプションが、愛知・名古屋サミットおもてなし委員会主催で開催されたため、石垣副知事が出席しました。

(2) 芳名帳

伊勢志摩サミット開催の記念とするため、サミット参加国及び機関(G7等、アウトリーチ、国際機関)の首脳等に芳名帳にサインをいただきたいと外務省に要望していたところであり、すべての首脳等ではないものの、サインをいただくことができました。今後、サミット記念館等に展示し、県民の皆様にご覧いただけるようにする予定です。

平成28年6月20日
伊勢志摩サミット三重県民会議事務局
開催支援課

配偶者プログラムの実施結果について

1 概要

サミット期間中、G7首脳及び欧州連合（EU）議長とともに来県した配偶者には、国が主催した配偶者プログラムが実施されました。視察日程の一部に県民会議事業が選ばれるとともに、関係団体等の協力により、県民参加による配偶者との交流や、県産食材が提供される等、取材プレス等を通じて三重県の情報発信が行われました。

なお、昨年10月9日に、G7首脳等の配偶者に三重を通じて日本を感じていただくべく、「伊勢志摩にみる日本の伝統・文化」をテーマに、「多様性・持続性・独創性・女性・食」というキーワードを基準に選定した伊勢志摩地域各地の訪問や、県民の方々と触れ合える機会を盛り込んだ内容を三重県として選定し、外務省に提案しました。

2 開催日程

月日	時間	プログラム	場所
5月26日	11:15-13:00	伊勢神宮訪問（正宮訪問、神楽鑑賞等）	伊勢神宮内宮
	13:15-14:15	総理夫人主催昼食会	杉風荘
	14:35-16:20	ミキモト真珠島訪問 （海女による採取デモンストレーション、博物館視察、真珠取り出し体験、休憩中のお菓子の提供、海女との対話、鳥羽九鬼水軍太鼓演奏、伊勢音頭体験等）	ミキモト真珠島
	17:10-17:20	記念植樹（県民会議主催）	志摩観光ホテル ザ・クラブ敷地内
	19:50-21:30	総理夫人主催夕食会	志摩観光ホテル ザ・クラブ「リアン」
5月27日	11:00-12:15	国際メディアセンター訪問 （政府広報展示スペース及び三重情報館の視察、パラスポーツ体験、竹あかり制作ワークショップ）	国際メディア センター
	12:55-14:00	総理夫人主催昼食会	志摩観光ホテル ザ・ベイスイート 「ラ・メール」

※ 鈴木知事は、5月26日の総理夫人主催昼食会（挨拶のみ）・ミキモト真珠島訪問・記念植樹、27日の国際メディアセンター訪問に同行。

※ ドイツ首相夫君は国際メディアセンター訪問、カナダ首相夫人は記念植樹をそれぞれ欠席。

3 参加配偶者

安倍 昭恵夫人

ヨアヒム・ザウアー・ドイツ首相夫君

ソフィー・グレゴワール＝トルドー・カナダ首相夫人

マウゴジャータ・トゥスク欧州理事会議長夫人

4 プログラムの概要

(1) 伊勢神宮訪問（正宮訪問、神楽鑑賞等）

宇治橋前で神宮附属幼稚園の園児による出迎えを受けた後、正宮を訪問しました。



園児の出迎え



伊勢神宮宇治橋

(2) 総理夫人主催昼食会（於：杉風荘）

三重県立相可高校食物調理科の生徒が一流の県産食材をふんだんに用いて料理し、英語のサービスでおもてなしを行い、食事終了後には、配偶者と交流を行いました。料理やサービスは配偶者の方々に非常に好評で、時折、拍手喝采が上がる等、盛り上がりのある雰囲気の中で進められました。

○参加した県民

相可高校生徒9名（調理場、サービス、お茶・お菓子をそれぞれ担当）

相可高校校長、食物調理科教諭2名

○県産品の活用

尾鷲ひのきで作られたテーブルやイス、伊賀焼や四日市萬古焼の食器、伊勢形紙で染めたナブキン等



料理の写真（八寸）



記念撮影

(3) ミキモト真珠島訪問

知事、地元首長、海女及び女将団体等による出迎えの後、ミキモト真珠島所属海女の採取デモンストレーション見学、真珠博物館見学、真珠採取体験、休憩、海女との交流、鳥羽九鬼水軍太鼓保存会による太鼓演奏、伊勢音頭体験が行われました。

○参加した県民

海女85名、九鬼水軍太鼓保存会8名、伊勢音頭保存会18名、伊勢っ子23名、

鳥羽市女将団体9名及び通訳ボランティア5名

【真珠採取体験】

県水産研究所が養殖したアコヤ貝を用い、県水産研究所職員及び真珠島社員の指導により行われ、取り出した真珠は、配偶者にお渡しされました。

【休憩時のお菓子の提供】

県内の障がい者が作った、シフォンケーキ（はあぶ工房 together）と伊賀の飛猿サブレ（維雅幸育会ふっくりあもオンマール）が提供されました。

【海女との交流】

鳥羽市及び志摩市の海女一人ひとりと握手をしながら言葉を交わした後、海女代表者と海女の仕事の大変さや自然との共生等についての対談が行われ、海女から命がけでやっていると聞かされた配偶者たちは、「皆さんの勇気を心に留め、国に帰ります。」と感銘を受けられていました。

【伊勢音頭体験】

伊勢音頭保存会と伊勢市の小中学生「伊勢っ子」が踊りを披露した後、配偶者も加わり一緒に輪になって、参加者全員が伊勢音頭を踊りました。その後の記念撮影終了後も配偶者と参加者との交流は続き、夫人に抱きしめられ、感激のあまり涙を見せる子どももいました。



海女との交流



伊勢音頭体験

（４）記念植樹（於：志摩観光ホテル）

県民会議の主催により、志摩観光ホテル内の庭園において、記念植樹を行いました。主催者代表として鈴木知事による歓迎の挨拶の後、地元神明小学校の代表による挨拶、続いて、参加した配偶者、大口志摩市長及び鈴木知事が、神明小学校児童のサポートにより植樹を行いました。

○参加した県民：志摩市立神明小学校児童 9名

○植栽樹：ヤマザクラ



植樹



記念撮影

（５）総理夫人主催夕食会

夕食会では、過去に全日本学生音楽コンクールで1位になった、津市在住の中学生の巽千夏さんがバイオリン演奏を披露しました。

(6) 国際メディアセンター訪問

国際メディアセンターへの訪問では、知事夫妻が同行し、政府広報展示スペース、三重情報館、パラスポーツを視察されるとともに、竹あかり制作ワークショップが行われました。

○参加した県民

三重県組紐協同組合 1 名、三重県手もみ茶技術伝承保存会 2 名

【政府広報展示スペース視察】

アネックス入口にて鈴木知事夫妻等による出迎えの後、視察が行われ、四輪駆動の電動車いすへの試乗等が行われました。

【三重情報館視察】

知事夫妻の案内により館内の視察が行われました。知事がフリクションペンの説明を行った際には、両夫人が高い興味を示し、「このペン欲しい」とのコメントがあり、仮想試着の体験では、ソフィー・グレゴワール・カナダ首相夫人がオレンジ色の着物を仮想試着した際、安倍昭恵夫人が「かわいい」と発言し、場が盛り上がりました。

- ・ 映像を用いた海女の説明
- ・ 伊賀くみひもの実演視察
- ・ 伊勢茶の手もみ実演視察と氷出しのお茶の提供
- ・ 知事によるフリクションペンの説明
- ・ 仮想試着の体験
- ・ PONTANA (ポンタナ) の体験

※PONTANA とは、観光情報等をスマートフォンやタブレット等で持ち帰ることができる装置。



知事挨拶



伊賀くみひもの実演視察

【パラスポーツ視察】

ボッチャ、車椅子バスケットボールを視察され、その後、伊勢市等の子どもたちとともに、ブラインドサッカー体験が行われました。

【竹あかり制作ワークショップ】

熊本を拠点に活動する竹あかり演出グループ「ちかけん」の企画により、鈴木知事夫妻等も参加し、三重県産の竹を使用して伊勢形紙のデザインを用いた竹あかりの制作が行われました。

平成28年6月20日

伊勢志摩サミット三重県民会議事務局

開催支援課

県産食材等の採用実績について

1 概要

サミット開催を契機に、県産食材等の需要拡大及び販売促進を図るため、昨年10月9日に、外務省に対して、国の公式行事等への県産食材等の採用提案を行うとともに、外務省への要望後は、ホテル・旅館のほか、国際メディアセンター（IMC）のダイニング等で活用されるよう、提案活動を行いました。

また、サミット開催に際して、警備、消防、医療、現地スタッフ等に対し提供される弁当においても、大規模需要への対応（志摩市、伊勢市、鳥羽市、津市ほか）については、実施事業者の選定に際して、県産米やその他の県産食材について可能な限り使用に努めるよう、企画提案コンペの仕様書に規定するとともに、農林水産部と連携して、県民会議から食材及びメニューの提案等を行いました。

小規模需要への対応においても、地元の小規模な弁当製造事業者による供給が行えるよう、需要が発生するそれぞれの地域の商工団体等との連携・協力を基に、両者のマッチングを促進しました。

（注）大規模需要への対応における実施事業者には、（株）ローソンを代表とする4社による共同事業体及び、（株）セブン-イレブン・ジャパンを代表とする9社による共同事業体を選定。

2 採用（活用）実績

(1) 首脳会議・配偶者プログラム・IMC

①国へ提案した県産食材・県産品等（平成27年10月9日に外務省へ提案）

食材・加工品・日本酒・飲料・県産品・伝統工芸品・花き

②採用（活用）された県産食材・県産品等（別添1～3を参照）

首脳会議・配偶者プログラム・IMCにおいて、県内26市町から、把握可能な範囲では少なくとも269品目の県産食材等（食材・加工品・日本酒）が活用されました。

昨年10月に外務省に提出した推薦リスト（上記①）からは、延べ190品目の県産食材等が活用され、推薦リストに掲載された品目以外でも多くの県産食材等を活用いただきました。

会議用机・イス等の県産品、食器類についても、少なくとも42品目が活用されました。

※上記推薦リストから採用された延べ190品目の内訳

- ・市町食材推薦リスト：延べ101品目
- ・みえフードイノベーションカタログ：延べ57品目
- ・みえセレクションの推薦リスト及び県産加工食品推薦品リスト：延べ14品目
- ・日本酒推薦リスト：延べ18銘柄

(2) 弁当供給（別添4を参照）

大規模需要への対応においては、平成28年3月24日～5月29日の期間に、計33万食の弁当が提供され、18品目（重複分除く）が県産食材として活用されました。

また、小規模需要への対応において、志摩市商工会が中心となり市内の弁当製造事業者によって組織した会（志摩市弁当協力会）では、海上保安庁及びサミット関連の支援事業者に対して、平成28年5月12日～29日の期間に、計1万8千食の弁当が供給され、少なくとも10品目が県産食材として活用されました。

【志摩市弁当協力会の弁当に活用された県産食材の品目】

米、豚肉、ぶり、しらす、たこ、わかめ、ひじき、あらめ、あおさ、さば

※事業者ごとに食材を仕入れているため、全てを把握することは困難ですが、確認が取れない部分において、提示品目より多くの県産食材が活用されているようです。



- | | |
|-------|--|
| ①志摩市 | 鯉節
鯛(造り)
鱧(造り)
鱈(造り)
油目(焚合せ) |
| ②熊野市 | 熊野地鶏(前菜) |
| ③津市 | 胡瓜(造り) |
| ④南牟婁郡 | マイヤーレモン果汁(前菜) |
| ⑤尾鷲市 | 太刀魚(造り) |
| ⑥桑名市 | フルーツマト(前菜)
蛤(御椀) |
| ⑦鳥羽市 | 若布(御椀) |
| ⑧多気郡 | 山葵(造り) |
| ⑨伊勢市 | 空豆(前菜)
里芋(焚合せ)
伊勢醤油(造り) |
| ⑩松阪市 | 椎茸(焚合せ)
松阪牛(食事) |
| ⑪伊賀市 | 伊賀牛(焼物)
米(食事) |
| ⑫度会郡 | 鰯(前菜)
伊勢まぐろ(造り) |



他県産の主な食材
 ・キャビア(宮崎県)
 ・大葉(愛知県)
 ・花付胡瓜(愛知県)
 ・マンゴー(宮崎県)



■ 5月26日(木曜日) ワーキング・ディナー 概要

- ・実施日時: 2016年5月26日(木曜日) 20時から21時40分
- ・実施会場: 志摩観光ホテル・ザ・クラシック1階「ラ・メール ザ クラシック」
- ・出席者: G7首脳、欧州理事会議長、欧州委員会委員長

[メニュー]

海の幸トマトの魅力をさまざまな形で

伊勢海老クリームスープ カプチーノ仕立て

鮑のポワレ あおさ香る鮑のソース
伊勢海老ソテー ポルト酒ソース 米澤モチ麦のリゾットとともに

伊勢茶の香りをまとわせた松阪牛フィレ肉
宮川育ちのワサビを添えて

ミルクチョコレートと柑橘のマリアージュ

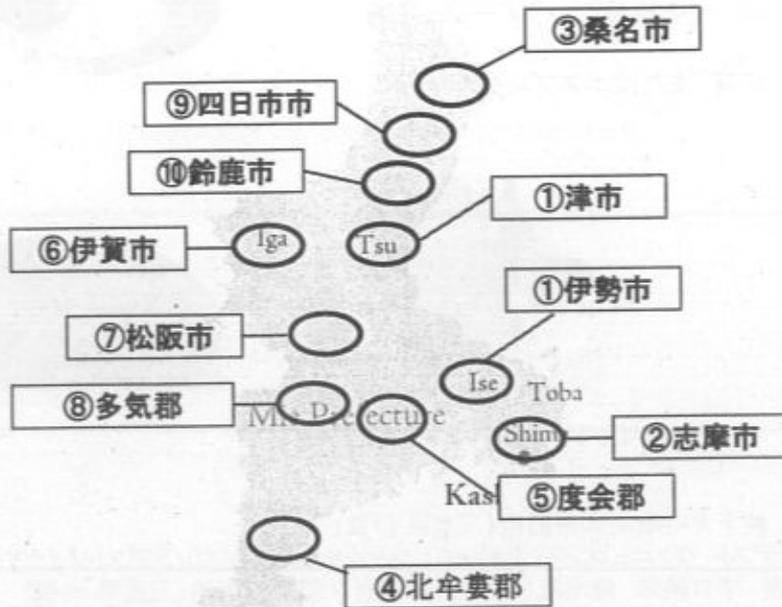
コーヒー、紅茶 またはエスプレッソ



- ・乾杯酒 半蔵 純米大吟醸 / 大田酒造(三重県 伊賀)
- ・白ワイン ヴィラデスト ヴィニュロンズ リザーヴ シャルドネ 2014/ ヴィラデストワイナリー(長野県)
- ・食中酒 瀧自慢 辛口純米 滝水流(はやせ)純米酒 / 瀧自慢酒造(三重県 名張)
- ・赤ワイン シャトー・メルシャン 梔子(マリコ) ヴィンヤード オムニス 2012 / メルシャン(長野県)
- ・デザートワイン 登美ノールブルドール1990 / サントリー山梨ワイナリー(山梨県)



- ①津市・伊勢市……………トマト(前菜)
- ②志摩市……………鮑(前菜、魚料理)
金目鯛(前菜)
真珠貝柱(前菜)
伊勢海老(スープ)
あおさ(魚料理)
車海老(前菜)
- ③桑名市……………蛤(前菜)
- ④北牟婁郡……………アオリイカ(前菜)
- ⑤度会郡……………卵(ロワイヤル)(スープ)
セミノール(デザート)
- ⑥伊賀市……………白米(リゾット)(魚料理)
- ⑦松阪市……………松阪牛(肉料理)
アラゲキクラゲ(肉料理)
しいたけ(肉料理)
- ⑧多気郡……………わさび(肉料理)
- ⑨四日市市……………伊勢茶(肉料理)
- ⑩鈴鹿市……………花びら茸(肉料理)



他県産の主な食材
・バター(岩手県産)



■ 5月27日(金曜日) ワーキング・ランチ 概要

- ・実施日時: 2016年5月27日(金曜日) 11時50分から13時23分
- ・実施会場: 志摩観光ホテル・ザ・クラシック地下2階「真珠の間」
- ・出席者: G7首脳、欧州理事会議長、欧州委員会委員長、アウトリーチ会合に参加する国・機関の出席首脳

[メニュー]

(上段に)

口 取 り 鱈チーズ焼き 鰻巻き玉子 枝豆焼き糀薯 蓬麩田楽
蛸柔らか煮 赤麹蒟蒻ピリ辛煮 蛤生姜煮 空豆蜜煮
丸十蜜煮 パプリカトマト酢浸し 酢蓮根

焚 合 せ 海老椎茸 楓冬瓜 桜扇貝吉野煮 蝶南京
鯛の子 オクラ

揚 げ 物 鮑唐揚げ 雲丹磯辺揚げ 鱈梅紫蘇揚げ
玉蜀黍と隠元 蟹パン

(下段に)

肉 料 理 伊勢鶏もも肉塩麹焼き
青唐 占地茸 貝割れ菜 黄ブチトマト レモンドレッシング
松阪牛ローストビーフ冷製
焼き茄子 赤ブチトマト わさび菜 大蒜チップ 胡麻ボン酢たれ
玉城豚ロース山椒焼き
蓮芋 アンディーブ 紫蘇ドレッシング



【別盛り】

にぎり寿司 煮穴子 鯛 鯉 鮪とろ
車海老 紅鮭燻製
生姜甘酢漬け 土佐醤油

御 椀 赤だし
浅蛸 三つ葉 粉山椒

水 菓 子 メロン 巨峰 西瓜 ミント

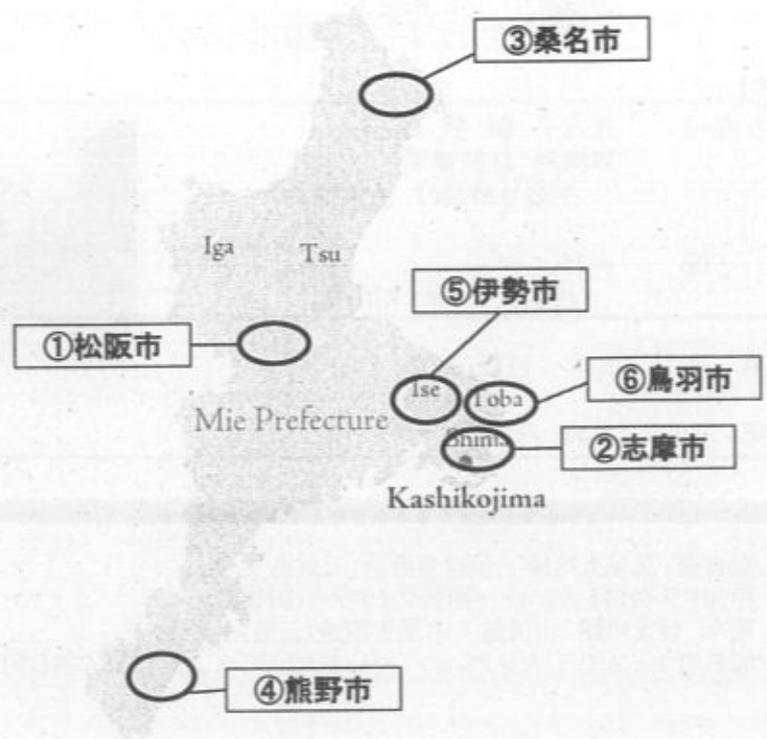
和 菓 子 落雁 煎茶



- ・乾杯酒 瀧自慢 純米大吟醸 / 瀧自慢酒造(三重県 名張)
- ・白ワイン 甲州ドライ2015 / シャトー酒折ワイナリー(山梨県)
- ・食中酒 而今 純米吟醸 山田錦 / 木屋正酒造(三重県 名張)
- ・赤ワイン 朝日町マイスター セレクション パレルセレクション赤 2013/ 朝日町ワイン(山形県)



①松阪市	椎茸(焚合せ) 松阪牛(肉料理) 新玉葱(揚げ物)
②志摩市	鱸(口取り) 鮑(揚げ物) 南張メロン(水菓子) 桧扇貝(焚合せ) 鯛の子(焚合せ) 鯆(寿司) 船越味噌(御椀) 三つ葉(御椀)
③桑名市	蛤(口取り)
④熊野市	ポン酢(マイヤーレモン土佐酢入り)(肉料理)
⑤伊勢市	伊勢どり(口取り) 空豆(口取り) 鱧(揚げ物) 穴子(寿司) 浅利(御椀)
⑥鳥羽市	海苔(揚げ物)





■ 5月26日(木曜日) コーヒーブレイク/カクテル

5月26日、G7伊勢志摩サミット(1日目)において、安倍総理大臣からG7各国首脳ほかに対しておもてなしの一環として、コーヒーブレイクの機会に三重県産のお菓子及びジュースなど、カクテルの機会に三重県産の日本酒などを提供・紹介し、我が国食文化の効果的な広報を行う上で非常に有意義な機会となりました。

1. コーヒーブレイク

開催日時: 5月26日(木曜日)午後

会場: 志摩観光ホテル・ザ・ベイスイート「ゲストラウンジ」

主な茶菓子:

- ・「伊勢茶生チョコレート」(三重県推奨菓子)((有)ふらんす)
- ・「シエル・レーヌ」(三重県推奨菓子)((株)ブランカ)
- ・「抹茶パーチディグマー」(コヴァ・ジャパン(株))
- ・「落雁(和三盆)」(志摩観光ホテル)



「落雁(和三盆)」
「和三盆糖」で作った風味豊かでロド
けの良い干菓子。本サミット開催に際
して、G7伊勢志摩サミットロゴマークを
はじめ三重県ゆかりの6種のモチーフ
をデザインしました。

主な飲み物:

- ・ミネラルウォーター「森の番人」(三重県産天然自然水)((有)森と水を守る会)
- ・スパークリングウォーター「奥会津金山 天然炭酸の水」((株)ハーベス)(福島県)
- ・三重県産オレンジジュース
 - ・「五カ所みかん完熟こつぶストレートジュース」(農事組合法人土実樹)
 - ・「マルチみかん 100%ジュース」((株)夢工房くまの)
 - ・「孫心完熟みかんジュース」((有)御浜柑橘)
- ・三重県産トマトジュース「200%トマトジュース」((株)デアルケ)
- ・宮城県産ブルーベリージュース「ブルーベリージュース」(富谷町ブルーベリー生産組合)
- ・岩手県産リンゴジュース「江刺りんごジュース 三姉妹」(JA江刺)



2. カクテル

開催日時: 5月26日(木曜日)19時13分から19時45分

会場: 志摩観光ホテル・ザ・クラシック「ラ・メール・ザ・クラシック」

主な軽食:

- ・宮崎県産キャビアのカナッペ(伊勢芋のプリニ)
- ・生ハムのマカロン
- ・スモークサーモンとモッツアレラ、トマトのカナッペ



主な飲み物:

- ・スパークリングワイン「アルガ・ブランカ・ブリリアンテ」(勝沼酒造)
- ・三重県産日本酒
 - ・「作 穂乃智 純米酒」(清水清三郎商店株式会社(鈴鹿市))
 - ・「宮の雪(純米酒)」(株式会社宮崎本店(四日市市))
- ・プレミアムビール
 - ・「プレミアム生ビール熟撰」(アサヒビール(株))
 - ・「ザ・プレミアムモルツ マスターズドリーム」(サントリー(株))
 - ・「一番搾りプレミアム」(キリン(株))
 - ・「エビスビール」(サッポロビール(株))
- ・三重県産オレンジジュース
 - ・「五ヶ所みかん完熟こつぶストレートジュース」(農事組合法人土実樹)
 - ・「マルチみかん 100%ジュース」((株)夢工房くまの)
 - ・「孫心完熟みかんジュース」((有)御浜柑橘)
- ・三重県産トマトジュース「200%トマトジュース」((株)デアルケ)
- ・宮城県産ブルーベリージュース「ブルーベリージュース」(富谷町ブルーベリー生産組合)
- ・岩手県産リンゴジュース「江刺りんごジュース 三姉妹」(JA江刺)
- ・ミネラルウォーター「森の番人」(三重県産天然自然水)((有)森と水を守る会)
- ・スパークリングウォーター「奥会津金山 天然炭酸の水」((株)ハーベス)(福島県)
- ・お茶「RIICHI premium」(ロイヤルブルーティー・ジャパン(株))



■ サミットで提供された飲料・軽食

	企業名	商品名
<ウイスキー>	サントリー	シングルモルトウイスキー 響21年
	サントリー	シングルモルトウイスキー 山崎25年
	ニッカ	竹鶴25年ピュアモルト
	ニッカ	竹鶴21年ピュアモルト
<ワイン>	朝日町ワイン	朝日町マイスターセクション バレルセクション赤
	ヴィラデストワイナリー	ヴィラデスト ヴィニュロンズリザーブ シャルドネ2014
	勝沼醸造	アルガブランカ ブリリヤンテ
	木下インターナショナル	シャトー酒折ワイナリー 甲州ドライ2015
	サッポロビール	GP 絢あや(赤)
	サッポロビール	GP 泉せん(白)
	サントリー	登美ノーブルドール1990
	シャトー・メルシャン	アンサンブルももいろ2013
	丸藤葡萄酒工業	ルバイヤート プティヴェルド2012
	マンズワイン	スパークリングワイン甲州酵母の泡キューブクローズ
	メルシャン	シャトー・メルシャン 北信シャルドネ2014
	メルシャン	シャトー・メルシャン マリコ・ヴィンヤードオムニス2012
<日本酒>	旭酒造	伊勢旭 純米酒
	安達本家酒造	純米大吟醸 富士の光
	石川酒造	噴井 純米吟醸 石川改詰
	伊勢萬	おかげさま 大吟醸
	磯自慢酒造	磯自慢大吟醸純米
	伊藤酒造	純米大吟醸 細女
	今村酒造	純米吟醸 白砂青松
	浦里酒造店	霧筑波30年熟成酒
	大木代吉本店	純米酒
	大田酒造	半蔵 純米大吟醸
	大田酒造	半蔵 大吟醸 伊賀山田錦
	神楽酒造	純米酒 神楽
	亀萬酒造	珍珠
	河武醸造	鉢杉 弓形穂しずく 純米吟醸酒
	寒紅梅酒造	純米吟醸 寒紅梅
	木内酒造	大吟醸古酒月下香ヴィンテージ1986年
	木屋正酒造	而今 純米吟醸 山田錦
	元坂酒造	酒屋八兵衛 伊勢錦山廃
	元坂酒造	酒屋八兵衛 山廃純米酒 伊勢錦
	(合資会社)後藤酒造場	青雲 大吟醸
	笹正宗酒造	純米吟醸
	澤佐酒造(合名会社)	純米吟醸 アンブレヴェ
	清水清三郎商店	作 智 純米大吟醸 滴取り
	清水清三郎商店	作 純米酒
	清水清三郎商店	作 雅乃智 中取り
	末廣酒造	やまとのころろ 微発泡酒
	末廣酒造	やまとのころろ 純米大吟醸
	末廣酒造	夢の香純米大吟醸
	須藤本家	純米大吟醸花薫光
	タカハシ酒造	天遊琳 特別純米酒
	瀧自慢酒造	純米大吟醸 瀧自慢
	瀧自慢酒造	瀧自慢 辛口純米 滝水流
瀧自慢酒造	瀧自慢 純米大吟醸	
中井酒造場	純米大吟醸 三重錦	



	企業名	商品名
<日本酒>(続き)	中山酒造	琥珀城 純米
	新澤醸造店	伯楽星純米大吟醸
	新良酒造	古色蒼然 15年余
	(合名会社)早川酒造	特別純米酒 田光 神の穂
	(合名会社)福持酒造場	純米酒 天下錦
	武勇	武勇大吟醸25年秘蔵大古酒
	細川酒造	上げ馬 純米吟醸 山田錦
	丸彦酒造	純米吟醸 三重の寒梅
	三菱ケミカル	作
	宮崎本店	純米大吟醸 宮の雪 酒魂
	宮崎本店	宮の雪 純米酒
	(合名会社)森本仙右衛門商店	MORIMOTO Vintage SAKE 1998
	若戎酒造	育甍 純米吟醸 真秀
	若戎酒造	BLACK 三重山田錦 純米吟醸 義左衛門
<ビール>	アサヒビール	プレミアム生ビール熟撰 小瓶
	アサヒビール	スーパードライドライブプレミアム
	キリン	一番搾りプレミアム 小瓶
	サッポロ	エビスビール 小瓶
	サントリー	ザ・プレミアムモルツ
	サントリー	ザ・プレミアムモルツ マスターズドリーム 小瓶
<ノンアルコールビール>	アサヒビール	ドライゼロ
	サントリー	オールフリー
<水>	ハーベス	奥会津金山 天然炭酸の水
	富士ミネラル	プレミアムスパークリングウォーター
	富士ミネラル	富士ミネラルウォーター
	森と水を守る会	森の番人
<お茶>	伊藤園	お〜いお茶
	伊藤園	お〜いお茶 玉露
	宇治園	ゴッtas デ 日本茶 エスぺシアル 玉露
	ロイヤルブルーティ・ジャパン	京都宇治碾茶 The Uji
	ロイヤルブルーティ・ジャパン	RIICHI premium
<ジュース類>	アサヒ飲料	Welch's アップル100
	アサヒ飲料	Welch's グレープ100
	アサヒ飲料	三ツ矢サイダー
	大塚製薬	イオンウォーター
	大塚製薬	ポカリスエット
	サントリー	ブラッドオレンジーナ
	JA江刺	江刺りんごジュース 三姉妹
	デアルケ	200%トマトジュース
	富谷町ブルーベリー生産組合	ブルーベリージュース(果汁50%)
	農事組合法人土実樹	五カ所みかん完熟こつぶストレートジュース
	御浜柑橘	孫心完熟みかんジュース
	御浜柑橘	みかんのしずく
	夢工房くまの	マルチみかん100%ジュース
	<軽食>	大塚製薬
大塚製薬		カロリーメイト ブロック2本入り チョコレート味
大塚製薬		ソイジョイクリスピー プレーン
大塚製薬		ソイジョイクリスピー ミックスベリー
志摩観光ホテル		落雁(和三盆)
シラセ		神宮スギ
洋菓子ナポレオン		本かぶせ茶フィナンシェ
ふらんす(有)		伊勢茶生チョコレート
ブランカ(株)		シェル・レーヌ
コヴァ・ジャパン(株)		抹茶パーチディターマ



■伊勢志摩サミットで使用された代表的な食器類

萬古焼(四日市)の盃による乾杯



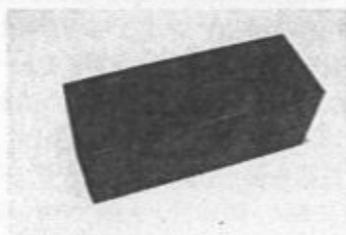
盛絵を施した四日市萬古焼酒杯高台は金・銀彩。三重県の特産品である四日市萬古焼(経済産業大臣指定伝統的工芸品)の伝統技法である盛絵で、伊勢志摩の自然である海や日本の伝統柄である桜などを施した酒杯(ペア)は、本サミットの開催地である三重県の伝統技術及び日本の伝統美を紹介するものとして、乾杯に使用されました。制作者(清水 酔月氏、※成形担当)は、萬古陶磁器工業協同組合理事長、1990年天皇陛下献上(即位の礼)、2011年四日市市文化功労者表彰。

越前塗二見ヶ浦 夫婦石蒔絵椀



素材は、肌目が緻密で堅く表面が美しく仕上がることで知られる高級素材、水目桜の木材を使用し一つ一つ丹念に彫り上げて作った越前漆器です。蒔絵には三重県を代表する観光名所の一つ、二見ヶ浦の夫婦岩をモチーフに、見た目も華やかなイメージに仕上げています。蓋の所には吸盤のように密着して取れにくい状態が発生しないように小さい穴を開けて、片手でもこぼさず簡単に開けられるよう工夫されています。

伊勢春慶塗二重弁当箱



江戸時代から昭和にかけて伊勢で盛んに作られていた漆器で、使いでの良さと美しい風合いのある伝統工芸品、伊勢春慶の重箱です。木目を生かす透明漆で木地の絵模様が素朴な生なりを尊ぶ伊勢の気風を現しています。中の仕切り部分は固定せず料理内容や入れる器を自由に換えられるように工夫されています。



■ 料理人紹介

伊勢志摩の食材を知り尽くした三人の食の達人がプロデュースいたします。

樋口 宏江 (ひぐち ひろえ)



大阪あべの辻フランス料理学校を卒業、志摩観光ホテルに入社。23歳の若さでホテル志摩スペイン村のフレンチレストラン「アルカサル」シェフに抜擢される。先々代料理長高橋忠之、先代総料理長宮崎英男の薫陶を受け、料理人としての料理哲学や芸術性を磨く。2008年ベイスイート開業とともにフレンチレストラン「ラ・メール」のシェフに就任。2014年、都ホテルズ&リゾーツ唯一の女性総料理長として、志摩観光ホテルクラシック、ベイスイート両館を統括する総料理長に就任。伝統の味を踏まえつつ、新しい感性をプラスし、伊勢海老や鮑をはじめとする地元食材を使用した「海の幸フランス料理」を進化させている。

茅ヶ迫 正治 (かやがさこ まさはる)



都ホテル(現ウェスティン都ホテル京都)内テナントの「浜作」で研鑽を積む。1985年、都ホテル大阪(現シェラトン都ホテル大阪)に入社し、和食「都」を担当。2004年、日本調理師連合会より師範状を授与される。2006年シェラトン都ホテル大阪「うえまち」の料理長に就任。2010年に、山蔭流包丁道師範に。さらに同年、厚生労働大臣表彰を受ける。2012年、大阪府優秀技能者(なにわの名工)として表彰。2014年6月、京都ハラール評議会所管の「ムスリムフレンドリー」のメニュー認証を「うえまち」の「ハラール和食弁当」が大阪の日本料理店で初めて取得した。2015年、シェラトン都ホテル大阪料理長に就任。2015年11月より、志摩観光ホテル和食の総料理長を兼務。

赤崎 哲朗 (あかさき てつろう)



ホテル日航大阪製菓調理部門に従事した後、ホテルグランヴィア京都、名古屋マリオットアソシアホテルの製菓部門で勤務。2006年、内海杯飴細工部門で金賞を受賞。2007年、社団法人日本洋菓子協会連合会、公益社団法人東京都洋菓子協会主催の「ジャパンケーキショー2007」で連合会会長賞及びグランプリ受賞、2009年イタリアのリキュールメーカールクサルド社、日本輸入元のドーバー洋酒貿易株式会社が実施する「ルクサンド・グラン・プレミオ日本大会」で優勝。2013年1月、フランスリヨンで、パティシエが製菓の技術を競う国際大会「クープ・ドゥ・モンド デュパティスリー」で世界2位に輝く。同10月、大阪マリオット都ホテルパティシエ料理長として入社。2015年11月より、志摩観光ホテル料飲部製菓長を兼務。

2015年 内海会理事就任

ヌーベルパティスリードゥジャポン役員就任

日本洋菓子協会連合会公認技術指導員就任



■ 5月26日(木曜日)安倍総理大臣夫人主催昼食会 概要

- ・実施日時: 2016年5月26日(木曜日) 13時15分から14時15分
- ・実施会場: 杉風荘
- ・出席者: ヨアヒム・ザウアー・ドイツ首相夫君
ソフィー・グレゴワール＝トルドー・カナダ首相夫人
マウゴジャータ・トゥスク欧州理事会議長夫人

[メニュー]

八 寸
志摩産鮎酒蒸し
伊勢湾産穴子ごぼう鑄込み
三色団子 学校ミニトマト 厚焼き卵 牛乳団子
志摩捕れ烏賊酒盗焼き
花茗荷甘酢漬け
あおりふぐ一夜干し
初かつお煮凍り
熊野地鶏松風焼き
三重県産米「結びの神」の海老手まり寿司
三重県産五月鱒 燻製の笹寿司



煮 物 椀
伊勢海老真丈
胡麻豆腐・つるな・結び人参・柚子

だし巻き卵
三重県立農業高校 飼い卵のだし巻き卵 あおさ



すき焼き
特選松阪肉・すべて三重県産の椎茸・本しめじ
小松菜・玉葱・牛蒡・人参 白葱・焼豆腐・温泉卵

御 飯
安倍昭恵様丹精こめて作った特別栽培米「昭恵米」
三重県立農業高校自家製味噌の味噌汁・青さ
松阪赤菜の漬物



お 菓 子
花菖蒲じょうよ饅頭 干菓子 伊勢茶 珈琲 紅茶

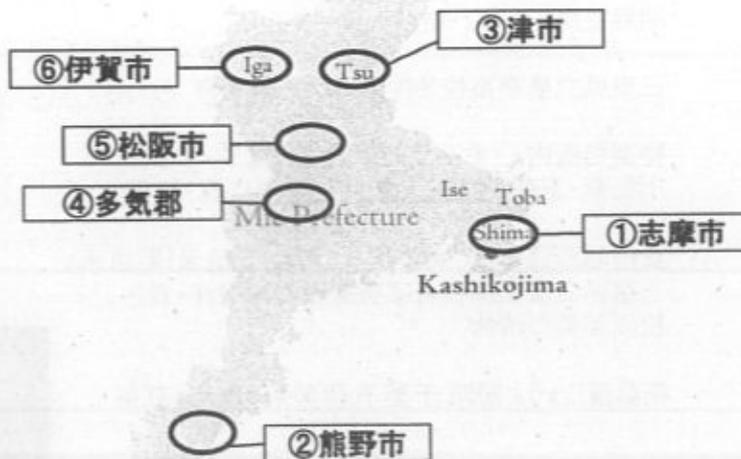


“清酒” やまとのこころ 微発泡酒 (福島県)
“清酒” やまとのこころ 純米大吟醸酒 (福島県)
シャトー酒折 甲州ドライ 2015 (山梨県)



5月26日昼食会で使用されている主な三重県産食材

①志摩市	酒盗(八寸) 烏賊(八寸) 初かつお(八寸) 海老(八寸) あのりふぐ(八寸) 伊勢海老(八寸)
②熊野市	熊野地鶏(八寸)
③津市	卵(だし巻き卵)
④多気郡	ミニトマト(八寸) 卵(八寸)
⑤松阪市	卵(八寸) 松阪牛(すき焼き) 松阪赤菜(御飯) 伊勢茶
⑥伊賀市	結びの神(米)(八寸)
⑦三重県	大内山牛乳(八寸) 五月鱒(八寸) 穴子(八寸)





■ 料理人紹介

三重県立相可高等学校食物調理科の皆さん



三重県立相可高校は、農産物生産・経営等の分野の実践教育で、先進的取組みを行っている日本でも数少ない高校です。

中でも食物調理科(調理クラブ)が実践教育の場として運営するレストランは、高校生が常設で運営するレストランとして日本国内で唯一。

各地の料理コンクールで数多く賞を獲得している調理クラブの生徒たちが、調理、接客、販売、経理までを行っており、地元食材を使用したメニューと、一流の料理人を目指す生徒たちのきびきびとした姿が話題を呼び、大人気店となっています。クラブの生徒たちは、2015年ミラノ万博の三重県ブースで料理をふるまった経験もあります。

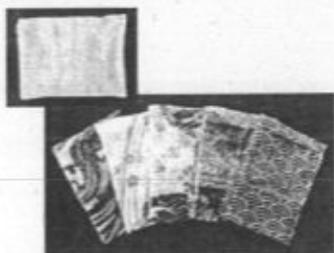
プロの料理人を目指す高校生たちは店の活動を通じて大きく成長し、卒業後は料亭やレストランなどの食の現場で、即戦力として活躍しています。

今回は、三重県の魅力と素晴らしさを知っていただくために、食材は、三重を代表する一流の食材をご用意し、レストランで経験を積んだ高校生たちが、皆様をおもてなしいたします。



■26日昼食会で使われた食器類

昼食会では、以下の三重県産品が使われました。



おしぼり・ナプキン：
おぼろタオル株式会社(津市)



ナプキン：
株式会社SUNKI Branding(伊勢市)
染：西田染工株式会社(京都)
生地：田村駒株式会社(大阪)



箸置：
清水きし代・酔月陶苑
(四日市市)



平碗：
森里博信・香山窯(伊賀市)



飯碗：
稲垣直(桑名市)



千羽鶴プロジェクト実行委員会



煎茶碗：
岸寿美子(四日市市)



ワインカップ：
稲垣竜一・三位陶苑
(四日市市)



酒杯：
ボルボレック(伊勢市)
一刀彫：井上重信 蒔絵：深井公



ワイングラス・タンブラー
NARUMI(志摩市)
制作：石塚硝子



■ 5月27日(金曜日)昼食 概要

- ・実施日時: 2016年5月27日(金曜日) 12時55分から14時
- ・実施会場: 志摩観光ホテル・ザ・ベイスイート5階「ラ・メール」
- ・出席者: 安倍昭恵総理大臣夫人
ソフィー・グレゴワール＝トルドー・カナダ首相夫人
マウゴジャータ・トゥスク欧州理事会議長夫人

[メニュー]

- ・海の幸と旬野菜 甲殻類のジュレ
鮑のヴィシソワーズとともに
- ・伊勢海老クリーム カプチーノ仕立て
または
- ・伊勢海老コンソメスープ
- ・志摩産黒鮑ステーキ
ブルブランソース あおさ風味
または
- ・伊勢海老ソテー ボルト酒ソース
米澤モチ麦のリゾットとともに
または
- ・伊勢茶で軽くスモークした松阪牛フィレ肉
宮川育ちのワサビを添えて
- ・メロンスープミントの香り
ココナッツソルベを添えて
または
- ・魔法のハーブディーリングのソルベとともに
- ・希少種“グランブランコ”凝縮した赤果実とヴェルガモットのエスプーマ
または
- ・桃のパッションコンポート フロマーージュブランのソルベとともに
- ・小菓子
- ・コーヒー、紅茶またはハーブティー



- ・白ワイン ヴィラデスト ヴィニユロンズ リザーヴ シャルドネ(長野県)2014
- ・赤ワイン シャトー・メルシヤン 梔子(マリコ) ヴィンヤード オムニス(長野県)2012

伊勢志摩サミットIMCダイニング提供メニュー一覧

エリア	5/25 (星)	5/26 (朝)	5/26 (昼)	5/26 (夜)	5/27 (朝)	5/27 (昼)	5/27 (夜)	5/28 (朝)
ピュッフェ	みえジビエ鹿肉の煮込ハンバーグ	さくらポークのトングカツ	三重の錦夷鳥のスパイスグリル	さくらポークのロースト尾鷲甘夏ソース	さくらポークポインナー熟成ウィーンナール	三重の和牛の特製ハッシュ・ド・ビーフ	三重の和牛の赤ワイン煮込み	さくらポークポインナー熟成ウィーンナール
	さくらポークのトンカツ	さくらポークカリカリ熟成ベーコン	さくらポークと地卵の生姜焼き	紀北のとこぶしの塩麹グラタン	プレミアム松阪豚生ハム	イカと地野菜の中華風塩炒め	さくらポークの角煮 針生姜添え	三重の錦夷鳥の唐揚げ
	近海魚介のペンネアラビアータ	プレミアム松阪豚生ハム	長久丸のもちもちマゴロのアンチョビパン粉焼き	三重県産真鯛の竜田揚げ 地産野菜の和風あんかけ	さくらポーク熟成ロースハム	近海魚介の「ラザニア」	長久丸もちもちマゴロのチリソース煮 え	プレミアム松阪豚生ハム
	ハマグリとアオサのペペロンチーノ	春野菜サラダ	近海魚介入り「白い麻婆豆腐」	三重県産和牛のすき焼き	春野菜サラダ	熊野地鶏と地卵のすき焼き	伊勢海老のピスタチオ	春野菜サラダ
	春野菜のバイヨン	三重のひじきとあさり・竹輪の炒め物	厚揚げと蚕豆の塩炒め	春野菜のラタトゥーユ	じゃがいもとベーコンのグラタン	地野菜のシヨートバスタ	里芋と椎茸の甘辛煮	三重のひじきと大豆の煮物
	春野菜サラダ	冷やし豆腐	春野菜サラダ	地野菜にざり寿司	冷やし豆腐	春野菜サラダ	三重の地野菜にざり寿司	冷やし豆腐
	ジャーマンポテト	大内山酪農プレミオンヨーグルト	フライドポテト&フライドオニオン	プレミアム松阪豚生ハム	大内山酪農プレミオンヨーグルト	マッシュポテト	プレミアム松阪豚生ハム	大内山酪農プレミオンヨーグルト
	伊賀米コシヒカリの炊きたてご飯	コーンポタージュ	伊賀米コシヒカリの炊きたてご飯	地産野菜のバーニャ・カウダ	伊賀産グリーンアスパラガスのポターージュ	伊賀米コシヒカリの炊きたてご飯	地産野菜のサラダ	三重のアカモクとアサリの味噌汁
	焼きたてパン	里芋の味噌汁	焼きたてパン	三重の地魚にざり寿司	三重のアオサと卵のスープ	焼きたてパン	三重の地魚にざり寿司	伊賀米コシヒカリの炊きたてご飯
	豆腐とホウレン草の味噌汁	伊賀米コシヒカリの炊きたてご飯	ハマグリとアオサの味噌汁	チーズ各種&ドライトール	伊賀米コシヒカリの炊きたてご飯	オニオンスープ	チーズ各種&ドライトール	焼きたてパン
きのこのポターージュ	焼きたてパン	地野菜のミネストローネ	伊賀米コシヒカリの炊きたてご飯	焼きたてパン	カットフルーツ	伊賀米コシヒカリの炊きたてご飯	カットフルーツ	
	カットフルーツ	カットフルーツ	カットフルーツ	カットフルーツ	カットフルーツ	カットフルーツ	カットフルーツ	
	真だくさん「伊勢美福豚汁」 地産フルーツカクテル	フルーツカクテル	フルーツカクテル	フルーツカクテル	フルーツカクテル	フルーツカクテル	フルーツカクテル	
	SWEETS あれこれ	SWEETS あれこれ	SWEETS あれこれ	SWEETS あれこれ	SWEETS あれこれ	SWEETS あれこれ	SWEETS あれこれ	
	三重の地魚にざり寿司	伊勢まだいのオーブン塩焼き	三重の地魚にざり寿司	三重の地魚にざり寿司	熊野地鶏胸肉の鉄板焼き	熊野地鶏胸肉の鉄板焼き	長久丸もちもちマゴロの西京味噌焼	
0Pキッチン	かけ蕎麦	伊勢うどん	かき揚げ天茶漬	かき揚げ天茶漬	伊勢うどん	伊勢うどん	三重のサツキマスのオーブン塩焼き	
	三重の地魚にざり寿司	三重の地魚にざり寿司	三重の地魚にざり寿司	三重の地魚にざり寿司	三重の地魚にざり寿司	三重の地魚にざり寿司	三重のサツキマスのオーブン塩焼き	
	亀山ラーメン	かき揚げ天茶漬	かき揚げ天茶漬	かき揚げ天茶漬	かき揚げ天茶漬	かき揚げ天茶漬	三重のサツキマスのオーブン塩焼き	
	伊勢海老の天麩羅	三重の地野菜の天麩羅	三重の地野菜の天麩羅	三重の地野菜の天麩羅	三重の地野菜の天麩羅	三重の地野菜の天麩羅	三重のサツキマスのオーブン塩焼き	
	みえジビエ鹿肉の鉄板ステーキ	みえジビエ鹿肉の鉄板ステーキ	みえジビエ鹿肉の鉄板ステーキ	みえジビエ鹿肉の鉄板ステーキ	みえジビエ鹿肉の鉄板ステーキ	みえジビエ鹿肉の鉄板ステーキ	みえジビエ鹿肉の鉄板ステーキ	

注1) IMCダイニングで提供されたメニューは延べ156品目のうち、三重県産食材等が一部でも使用されたメニューは延べ152品 (三重県産食材がメニューに使用された割合は97.4%)
 注2) 唐揚げのメニューにおいては、三重県産の食材は使用されていない。

伊勢志摩サミットにおける県産品の採用について

伊勢志摩サミットを契機とした県産品の需要拡大及び販売促進を図るため、昨年10月に外務省に対してサミット公式行事等での県産品の採用提案を行ってきたところですが、5月26日及び27日に開催された伊勢志摩サミットの首脳会議、配偶者プログラム及び国際メディアセンター等において、以下の県産品が活用されました。

【伊勢志摩サミットで採用された県産品】

※主な県産品の写真及び一覧は別記1及び2のとおり

(1) 県産材

採用品	概要
首脳会議で使用されたテーブル等	会議・ランチ・ディナー用円卓各1台、シェルパ用机、国名名札、ペン皿、デスクマット (尾鷲ひのきを使用)
配偶者プログラムでの昼食用テーブル・椅子	尾鷲ひのき・県産杉を使用
国際メディアセンター(IMC) アネックスにおける木工事箇所	本棟、渡り廊下、外構に県産材(尾鷲ひのき他)を使用
歓迎メッセージフレーム	伊勢形紙模様のレーザー彫刻を施したメッセージフレーム(県民会議贈呈品)
三重情報館の内装装飾	内装の装飾「檜の舞台」に尾鷲ひのきを使用

(2) 食器類・調度品、贈呈品

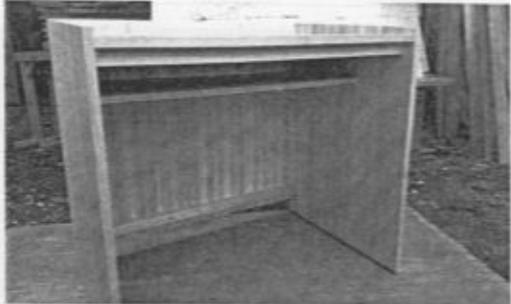
採用品	概要
首脳のランチ・ディナーにおける食器類	萬古焼の酒杯
総理夫人昼食会における食器類・調度品	食器類(酒杯、飯碗、平鉢等)、調度品(おしぼり、ランチョンマット等)に伊勢形紙、伊賀焼、萬古焼等を使用
首脳・配偶者等への贈呈品やその装飾、包装等	カップ&ソーサー、木箱、風呂敷、飾り紐等

(3) その他

採用品	概要
首脳識別証	真珠のラペルピン

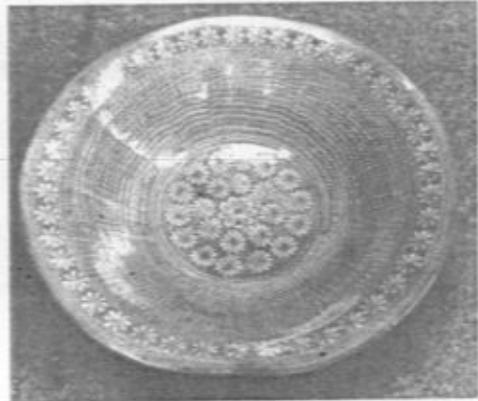
※三重県で把握している県産品を掲載。

伊勢志摩サミットで採用された主な県産品 写真

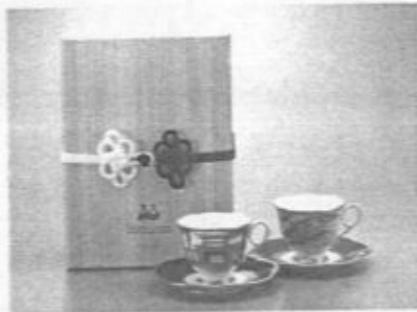
	
<p>1 首脳会議用円卓 (首脳会議で使用、尾鷲ひのき)</p>	<p>2 シェルパ用デスク (首脳会議で使用、尾鷲ひのき)</p>
	
<p>3 国名席札 (首脳会議で使用、尾鷲ひのき)</p>	<p>4 コースター (首脳会議で使用、尾鷲ひのき)</p>
	
<p>5 配偶者プログラムでの昼食用机・イス (尾鷲ひのき、県産杉)</p>	<p>6 三重県情報館 内装装飾 (尾鷲ひのき)</p>



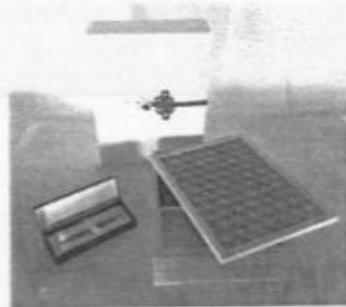
7 おしぼり
 (総理夫人主催昼食会で使用、おぼろタオル)



8 伊賀焼の平鉢
 (総理夫人主催昼食会で使用)



9 カップ&ソーサー
 (G7 首脳等へ贈呈、三重ナルミ)



10 真珠付きボールペンと文箱
 (アウトリーチ国首脳等へ贈呈、真珠付きボールペン：ミキモトインターナショナル、文箱：指勘建具工芸)

※採用された県産品のうち、一部の写真を掲載しています。
 ※写真1、5、7、8、9及び10は写真外務省HPより引用。

県産品一覧

県産材

採用品	概要
首脳会議用円卓・椅子等	尾鷲ひのき
昼食用テーブル・椅子	尾鷲ひのき、県産杉
IMCアネックスの木工事箇所	県産材その他材
メッセージフレーム	尾鷲ひのき
三重県情報館 内装装飾	尾鷲ひのき
IMC ダイニング用割り箸	津市美杉産杉(2万膳)

食器類(首脳会議等)

採用品	概要
酒盃	四日市萬古焼(首脳の食事に使用)
弁当箱	伊勢春慶塗二重弁当箱

食器類・調度品等(総理夫人主催昼食会)

採用品	概要
おしぼり・お手拭き	おぼろタオル
ナブキン	伊勢形紙
箸置	四日市萬古焼
平鉢	伊賀焼
飯碗	県在住陶芸家による作成
カップ&ソーサー	三重ナルミ製
煎茶椀	県在住陶芸家による作成
ワインカップ	四日市萬古焼
酒杯	株式会社ボルボレッタ
ワイングラス・タンブラー	NARUMI
ランチョンマット	伊勢紙
メニュー(台紙)	伊勢紙
メニュー(つづりひも)	伊賀くみひも
クッション	市木木綿
カップ	四日市萬古焼

贈呈品

採用品	概要
真珠ネックレス	総理夫人から配偶者へ
真珠ピンブローチ	総理夫人から配偶者へ
ベタンコバッグミニ	M.I.Eブランド、総理夫人から配偶者へ
ベタンコバッグミニ	M.I.Eブランド、総理夫人から配偶者へ
風呂敷	伊勢木綿・伊勢形紙、総理夫人から配偶者へ
飾りひも	伊賀くみひも、総理夫人から配偶者へ
のし紙	伊勢紙・伊勢形紙、総理夫人から配偶者へ
カップ&ソーサー	県民会議からG7首脳等へ(三重ナルミ)
木箱	県産杉材、県民会議からG7首脳等へ
飾りひも	伊賀くみひも、県民会議からG7首脳等へ
中袋	松阪木綿、県民会議からG7首脳等へ
風呂敷	伊勢木綿、県民会議からG7首脳等へ
文箱	県産檜(尾鷲ひのき)・県産杉材、県民会議からアウトリーチ国首脳へ
真珠付きボールペン	県民会議からアウトリーチ国首脳へ
飾りひも	伊勢紙、県民会議からアウトリーチ国首脳へ
中紙	伊賀くみひも、県民会議からアウトリーチ国首脳へ
風呂敷	伊勢木綿、県民会議からアウトリーチ国首脳へ
松阪木綿手提げ	配偶者プログラムにて贈呈

その他

採用品	概要
真珠ラベルピン	首脳が着用(識別証)

※三重県で把握している県産品を掲載。

弁当供給(大規模需要への対応)における県産食材の活用状況

1. (株)ローソンを代表とする共同事業体

使用原材料名	ブランド名・商品名	事業者名	産地(市町)	使用量
米	コシヒカリ キヌヒカリ	(株)神明 ミエライス	(指定なし) 伊賀市	32,260kg
豚肉	豚バラスライス	日本ビュアフード(株)	(指定なし)	1,002kg
さば	真サバ切身・フィーレ さば切り身	(株)三水フーズ 山佐食品	(指定なし) 熊野灘【奈屋浦漁港】	771kg
伊勢うどん	伊勢うどん	大徳食品(株)	四日市市	429kg
のり	焼海苔2/3・1/8	(株)福井	伊勢市	180kg
かつお	かつお切身	(株)三水フーズ	(指定なし)	109kg
ぶり	ぶりロイン皮無	(株)三水フーズ	(指定なし)	96kg
はなびらたけ	はなびらたけ	鈴鹿はなびらたけ工房	鈴鹿市	58kg
大豆	水煮大豆(ふくゆたか)	日本レトルトフーズ(株)	鈴鹿市	27kg
伊勢ひじき	米ひじき 伊勢ひじき	三重漁連 (株)マルハ昆布	伊勢湾 伊勢市、志摩市	24kg
鶏肉	鶏ムネ肉	三重通商	松阪市、志摩市、多気 郡、度会郡	21kg
あおさ佃煮	伊勢志摩のり	(株)銚子のいわし屋	伊勢湾	17kg
醤油	伊勢醤油	ヤマモリ(株)	桑名市	9kg
味付け海苔	味付け海苔12切5枚	朝日海苔本舗(株)	桑名市	0.3kg

2. (株)セブン-イレブン・ジャパンを代表とする共同事業体

使用原材料名	ブランド名・商品名	事業者名	産地(市町)	使用量
米	伊賀こしひかり	名古屋食糧	(指定なし)	29.3t
伊勢ひじき	伊勢ひじき	ヤマナカフーズ	伊勢市	215kg
ブナシメジ	(特になし)	JA三重	(指定なし)	114kg
小女子	小女子佃煮	浜与	伊勢市	1,000kg
あおさ海苔	青バラ粉末	福井	桑名市	513kg
醤油	たまり醤油 伊勢の国	サンジルス醸造	桑名市	3,200kg
小麦粉	ニシノカオリ	内外製粉	(指定なし)	1,100kg

平成28年6月20日

伊勢志摩サミット三重県民会議事務局

開催支援課

贈呈品について

1 概要

伊勢志摩サミット三重県民会議は、歓迎の意を表し、三重県への訪問を長く記憶に留めていただくため、G7首脳等及びアウトリーチ国首脳等へウエルカムメッセージとともに贈呈品をお渡ししました。

また、安倍総理大臣からG7首脳等及びアウトリーチ国首脳等へ、また安倍総理大臣夫人からG7首脳等配偶者へ贈呈品が渡されるとともに、県内市（伊勢市、鳥羽市、志摩市）からもG7首脳等やその配偶者へ贈呈品が渡されました。

2 贈呈品の概要（詳細は別添1及び2を参照）

(1) 伊勢志摩サミット三重県民会議からの贈呈品及びウエルカムメッセージ

①贈呈品

ア) G7首脳、EU理事会議長及び委員会委員長あて（合計9件）

【品名】カップ&ソーサー（ペア）

【制作者】三重ナルミ株式会社[志摩市]

【ラッピング】木箱（三重県産杉材）、飾り紐（伊賀くみひも）、中袋（伊勢木綿）、風呂敷（松阪木綿）

イ) アウトリーチ国首脳、国際機関の長あて（合計12件）

【品名】文箱&真珠付きボールペン

【制作者】（文箱）指勘建具工芸[菰野町] ※三重県産ひのき、杉材
（真珠付きボールペン）ミキモトインターナショナル[東京]

【ラッピング】包み紙（伊勢紙）、飾り紐（伊賀くみひも）、風呂敷（伊勢木綿）

②ウエルカムメッセージ（詳細は別添3を参照）

伊勢紙へ知事メッセージを印刷し、伊勢神宮と賢島（会議場）の写真とともに尾鷲ひのきのFSC認証材で作成したフレームに入れて、G7首脳並びにEU理事会議長及び委員会委員長、アウトリーチ国首脳、国際機関の長（合計21件）へ贈りました。

【制作者】ウッドメイクキタムラ[紀北町]

(2) 国からの贈呈品

①安倍総理大臣からG7各国首脳等への贈呈品

ア) G7首脳、EU理事会議長及び委員会委員長あて（合計8件）

- ・萩焼 花瓶
- ・秀衡塗酒杯（ペア）（岩手県産品、有限会社翁知屋）
- ・玉虫塗小物入れ（宮城県産品、有限会社東北工芸製作所）
- ・会津ほまれ 播州産山田錦仕込 純米大吟醸酒（福島県産品、ほまれ酒造株式会社）
- ・肥後象がん万年筆（熊本県産品、プラチナ万年筆株式会社）

イ) アウトリーチ国首脳、国際機関の長あて (合計 12 件)

- ・ 秀衡塗酒杯 (ペア) (岩手県産品、有限会社翁知屋)
- ・ 玉虫塗小物入れ (宮城県産品、有限会社東北工芸製作所)
- ・ 会津ほまれ 播州産山田錦仕込 純米大吟醸酒 (福島県産品、ほまれ酒造株式会社)
又は大野農園りんごジュース (福島県産品、大野農園株式会社)
- ・ 肥後象がん万年筆 (熊本県産品、プラチナ万年筆株式会社)

②安倍総理大臣夫人から G7 首脳等配偶者への贈呈品

- ・ 真珠ネックレス又は真珠ピンブローチ (三重県産品、ミキモト真珠島)

【贈呈先】ドイツ首相夫君、カナダ首相夫人、EU 理事会議長夫人

【ラッピング】

- ・ ペタンコバッグミニ (三重県の手づくりブランド「M. I. E (ミー)」)
- ・ 包み紙 (伊勢紙)
- ・ 風呂敷 (伊勢形紙で染めた伊勢木綿)

(3) 県内市からの贈呈品

①伊勢市(市長)から G7 首脳、EU 理事会議長及び委員会委員長あて (合計 9 件)

(製作者は非公表)

- ・ 伊勢の伝統工芸品「一刀彫 (神鷄)」
- ・ 舞楽の面額「蘭陵王面」
- ・ 伊勢音頭柄の手拭い
- ・ 「伊勢市」法被

②鳥羽市(市長)からミキモト真珠島を訪問された G7 首脳等配偶者への贈呈品

贈呈先：安倍総理大臣夫人、ドイツ首相夫君、カナダ首相夫人、EU 理事会議長夫人

- ・ フォトフレームクリスタルラッカー (キャビネ版、真珠・白蝶貝付)
(ミキモトインターナショナル)
- ・ 写真集「志摩半島の海女」 (海女文化国際発信事業実行委員会)
※志摩市と合同での贈呈品。

③志摩市(市長)から G7 首脳、EU 理事会議長及び委員会委員長への贈呈品 (合計 9 件)

- ・ 貝細工美術額 (F 6) 「鶴二羽亀二匹」 (境工芸社)
- ・ 本真珠付真珠箸 (5 膳組) (境工芸社)
- ・ ボーンチャイナプレート (英虞湾) (三重ナルミ株式会社)
- ・ アーティストブック「志摩という国」 (ヌゼモン志摩風呂敷付 (Shima Creators Office))
- ・ 写真集「志摩半島の海女」 (海女文化国際発信事業実行委員会)
※鳥羽市と合同での贈呈品。

伊勢志摩サミット三重県民会議から
G7首脳及びEU理事会議長、EU委員会委員長への贈呈品について

カップ&ソーサーは、伊勢志摩国立公園内に位置する製造業者が、世界に誇るボーンチャイナ素材に会場である賢島と訪問先である伊勢神宮をジャパンプルーでハンドペイントして制作したものです。これらの品を伝統工芸である伊勢木綿とともに三重県産杉材の箱に入れ、伊賀くみひもで結び、松阪木綿の風呂敷で心を込めてお包みしました。

- カップ&ソーサー(ペア) 【制作者】三重ナルミ(志摩市)
 - ・フチ模様は伝統模様「青海波(せいかいは)」の中に真珠に見立てた「玉」技法が入っています。
 - ・ソーサーの一番内側は、「伊賀くみひも」に見立てた模様をエンボスで盛り上がらせています。
 - ・取っ手は「くくり」と呼ばれる両サイドを金・銀で線引きした優雅な手法を用いています。
 - ・全体監修、形状デザイン、ハンドペイントをすべて女性(ハンドペイントは桑名市出身)が担当しています。
- 三重県産杉材の木箱 【制作者】松阪飯南森林組合(松阪市)
- 伊賀くみひも 【制作者】松島組紐店(伊賀市)
- 中袋(伊勢木綿) 【制作者】加工:三重ナルミ、SUNKI Branding(伊勢市)、素材:臼井織布(津市)
- 風呂敷(松阪木綿) 【制作者】加工:松阪もめん手織りセンター(松阪市)、素材:御糸織物(明和町)



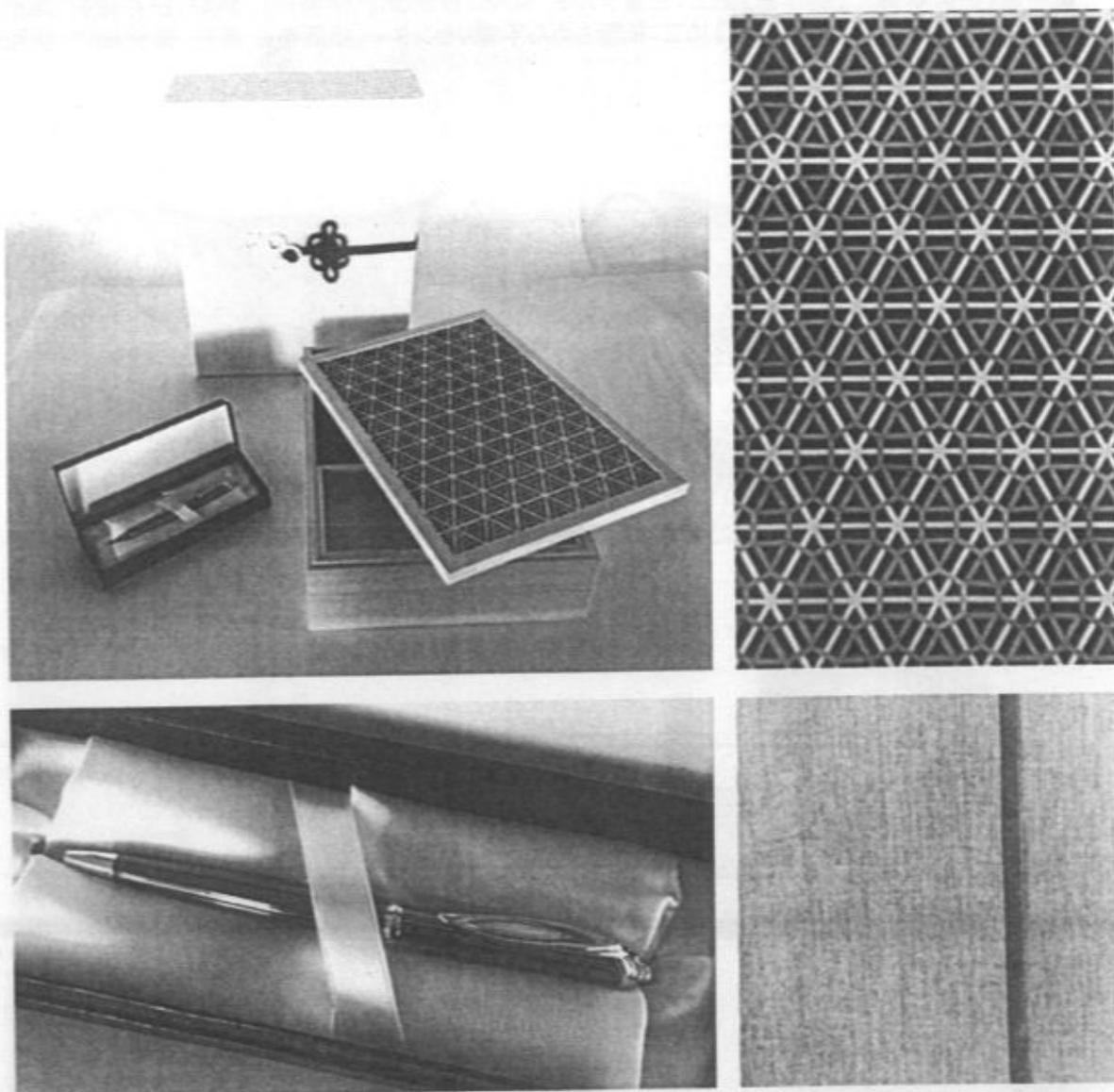
カップの裏印

ソーサーの裏印

伊勢志摩サミット三重県民会議から アウトリーチ国首脳、国際機関の長への贈呈品について

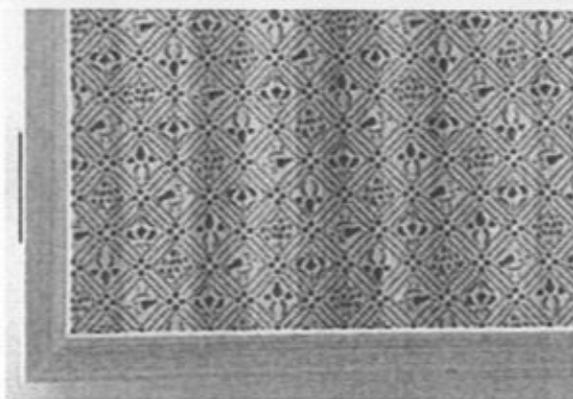
文箱は、三重県産の檜と杉を使い、伝統技術である組子で「輪つなぎ」という吉祥文様により制作しました。また、真珠付きのボールペンは三重県で真珠養殖を世界で初めて成功した御木本幸吉氏に由来しています。これらの品を伝統工芸である伊勢紙とともに箱に入れ、伊賀くみひもで結び、伊勢木綿の風呂敷で心を込めてお包みしました。

- 文箱 【制作者】指勘建具工芸(菰野町)
- ボールペン 【制作者】ミキモトインターナショナル(東京)
- 包み紙(伊勢紙) 【制作者】加工:ミフジ、素材:大豊和紙工業(伊勢市)
- 伊賀くみひも 【制作者】松島組紐店(伊賀市)
- 風呂敷(伊勢木綿) 【制作者】臼井織布(津市)



贈呈品に添えるウエルカムメッセージについて

- メッセージ(日本語訳は別記1及び2を参照) ※伊勢紙に印刷
- FSC認証材の尾鷲ひのきのフレーム 【制作者】ウッドメイクタムラ(紀北町)
- 伊勢神宮と賢島(会議場)の写真 【制作者】伊勢神宮=増浦行仁氏、賢島=志摩観光ホテル提供
- 伊勢形紙 【制作者】伊勢形紙協同組合
「三重の四彩」=この文様は三重県の三本線に三重の木(神宮スギ)、花(ハナショウブ)、鳥(シロチドリ)、獣(カモシカ)を彫刻しています。



＜表面＞ 伊勢形紙文様（レーザー彫刻）



＜裏面＞ FSC認証マーク（レーザー彫刻）

【G7首脳・EU理事会議長及び委員会委員長へのウエルカムメッセージ日本語訳】

閣下

ようこそ、三重県へ。心からの歓迎と感謝の気持ちをお伝えいたします。
歓迎とおもてなしの心を込めて、私たちが愛する郷土「三重県」の品を贈らせていただきます。

このたびお届けしましたカップ&ソーサーは、伊勢志摩国立公園内に位置する製造業者が、世界に誇るボーンチャイナ素材に会場である賢島と訪問先である伊勢神宮をジャパンプルーでハンドペイントして制作したものです。

これらの品を伝統工芸である伊勢木綿とともに三重県産杉材の箱に入れ、伊賀くみひもで結び、松阪木綿の風呂敷で心を込めてお包みしました。

どうか、帰国後、これらの品々、そして、写真を通じて、美しい自然に囲まれた伊勢志摩でのサミットを思い出され、そして、いつか、再び日本人の心のふるさとである三重県にお越しいただけますよう、三重県民一同、心から願っております。

平成28年5月26日

三重県知事 鈴木 英敬

【アウトリーチ国首脳、国際機関の長へのウェルカムメッセージ日本語訳】

閣下

ようこそ、三重県へ。心からの歓迎と感謝の気持ちをお伝えいたします。
歓迎とおもてなしの心を込めて、私たちが愛する郷土「三重県」の品を贈らせていただきます。

このたび、お届けしました文箱は、三重県産の檜と杉を使い、伝統技術である組子で「輪つなぎ」という吉祥文様により制作しました。

また、真珠付きのボールペンは三重県で真珠養殖を世界で初めて成功した御木本幸吉氏に由来しています。

これらの品を伝統工芸である伊勢紙とともに箱に入れ、伊賀くみひもで結び、伊勢木綿の風呂敷で心を込めてお包みしました。

どうか、帰国後、これらの品々、そして、写真を通じて、美しい自然に囲まれた伊勢志摩でのサミットを思い出され、そして、いつか、再び日本人の心のふるさとしてある三重県にお越しいただけますよう、三重県民一同、心から願っております。

平成28年5月26日

三重県知事 鈴木 英敬

公共交通機関の運休等及び交通総量抑制対策について

1 公共交通機関の運休及び変更

サミットの安全を確保するため、サミット期間中は賢島周辺の公共交通機関では、以下のとおり一部運休または運航の変更が行われました。

(1) 期間

平成28年5月21日(土)始発～平成28年5月28日(土)7:00

(2) 運休・変更内容

ア) 鉄道・バス

- ・近畿日本鉄道(志摩線)の鵜方駅～賢島駅間の運休
- ・三重交通バス(59系統)の鵜方駅～賢島駅間の運休
- ・伊勢志摩リゾートホテル直行バス「パールシャトル」の運休

※ 代替手段として、鵜方駅～賢島駅間にシャトルバス(外務省運用)を運行。

※ 賢島には、外務省発行の識別証をお持ちの方のみ入域可能。また、賢島の手前に設置されるセキュリティ・チェックポイントにて保安検査が実施されました。

イ) あご湾定期船

- ・賢島～浜島航路:御座～賢島間の運休
 - ・賢島～和具航路:賢島港に代わり、志摩地中海村のマリーナを発着場所に変更
- ※ 志摩地中海村～鵜方駅間をシャトルバス(外務省運用)が運行。

2 交通総量抑制対策に係る取組

伊勢志摩サミットの成功に向け、交通規制に伴う一般交通への影響を最小限にとどめるため、テロ対策三重パートナーシップ交通対策推進ワーキンググループと連携して、オール三重で県下全域での交通総量抑制対策に取り組みました。

(1) 対策期間

平成28年5月25日(水)～28日(土)

(2) 取組内容

- ・不要不急の乗用車利用の自粛
- ・通勤時等における公共交通機関利用の促進
- ・移動時の乗り合い乗車の促進
- ・期間中における不要不急の会議、イベント等の自粛 等

(3) 開催期間中の状況

サミット開催期間中、若干の交通渋滞はあったようですが、高速道路でも渋滞は発生せず、大きな混乱は回避できたと聞いています。皆様のご理解・ご協力により、円滑な交通流の確保ができたものと考えています。

平成28年6月20日

伊勢志摩サミット三重県民会議事務局

開催支援課

各国先遣隊歓迎夕食会について

1 概要

来県される各国先遣隊に対し、三重の食材を生かした料理やお酒、伝統芸能等の披露等によるおもてなしで慰労するとともに、三重の魅力を発信し本国に伝えていただくため、夕食会を開催しました。

※先遣隊：本国政府の関係者がサミットの準備状況確認のため来県するもの。

2 夕食会日程

別添「夕食会日程」のとおり。

3 具体内容

夕食会では、三重の魅力をまとめたパワーポイントを使いプレゼンテーションを行うとともに、サミットに向けたDVDを上映する等、三重のPRに努めました。

また、三重の食材をふんだんに使った料理の提供、三重の地酒による乾杯、伝統芸能の披露等によるアトラクション、素晴らしい華や伝統工芸品等による装飾・展示等、多くの協賛もいただきながら、三重の魅力を発信しました。

なお、この機会を捉え、サミット開催前後における各国首脳等と県民との交流（「世界との絆づくり」）を実現するための働きかけを行いました。

4 協賛

<食材>

尾鷲市海面養殖振興協議会、(一財)熊野市ふるさと振興公社

<飲料>

アサヒビール(株)中部統括本部、伊勢萬(株)、(一財)熊野市ふるさと振興公社、清水清三郎商店(株)、国立大学法人三重大学、(株)宮崎本店、合名会社森喜酒造場、尾呂志夢アグリ、尾鷲名水(株)、(有)森と水を守る会、味の素ゼネラルフーズ(株)

<華の装飾>

真生流いけばな 家元目代 爪橋静華、草月会三重県支部、池坊津支部

<展示>

黒瀬町自治会、めがね工房ごうじ、榎並孝子(人形作家)、小林豊子きもの学院近畿本部

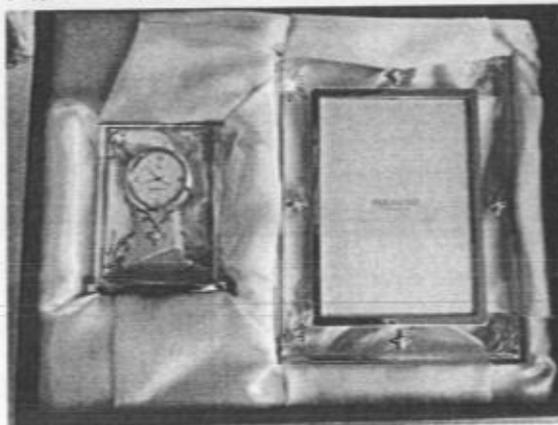
<通訳ボランティア>

住友電装(株)、日本トランスシティ(株)、(株)百五銀行

5 お土産品の提供

伊勢市、志摩市、鳥羽市、尾鷲市、熊野市、松阪市、公立大学法人三重県立看護大学、皇學館大学、国立大学法人三重大学、(株)稲藤、鳴海製陶(株)

団長への記念品



アトラクション



懇談の様子



【夕食会日程】

月日	国	相手国 参加人数	市町長等	アトラクション	乾杯酒	場所
2月22日(月)	ドイツ	12名	大口 志摩市長 小山 南伊勢町長 久保 多気町長 亀井 鈴鹿市副市長 尾西 三重大学理事兼副学 長	恵利原早餅つき(恵 利原早餅つき保存 会)	三重大学 (純米大吟 醸)	賢島宝生苑
3月9日(水)	欧州連合	8名	大口 志摩市長 竹上 松阪市長	—	宮の雪酒塊 (純米大吟 醸)	志摩観光ホテル ザ・ベイスイート
3月15日(火)	イタリア	8名	木田 鳥羽市長 大口 志摩市長 河上 熊野市長 久保 多気町長	磯部楽打ち(神童会)	ラカント梅酒 「豊穡の海」	プライムリゾート賢島
4月14日(木)	アメリカ	47名	木田 鳥羽市長 鈴木 伊勢市長 大口 志摩市長	木遣り(伊勢神宮奉 仕会青年部)	おかげさま (大吟醸)	NEMU HOTEL&RESORT
4月18日(月)	カナダ	14名	小山 南伊勢町長 藤本 伊勢市副市長 岩田 尾鷲市長	尾鷲節(尾鷲節保存 会)	るみ子の酒 (純米大吟 醸)	ホテル志摩スペイン 村
4月27日(水)	英国	8名	鈴木 伊勢市長 小山 南伊勢町長 清水 皇学館大学学長 玉田 看護大学学長代理、 理事兼学生部長	雅楽の演奏(皇学館 大学雅楽部)	おかげさま (大吟醸)	賢島宝生苑
5月10日(火)	フランス	19名	大口 志摩市長 木下 鳥羽市副市長 亀井 鈴鹿市副市長	鈴鹿墨を使った書道 パフォーマンス(鈴鹿 墨進誠堂)	作(純米大 吟醸 雅乃 智 中取り)	ホテル志摩スペイン 村

※夕食会のホストは、すべて三重県副知事(ドイツ:植田副知事、ドイツ以外:石垣副知事)

平成 28 年 6 月 20 日

伊勢志摩サミット三重県民会議事務局

開催支援課

各国首脳等と県民との交流について ～「世界との絆づくり」～

1 概要

地域の国際化や情報発信の促進、学生や子ども達のサミットへの参加意識の高揚、各国と地域の一層の関係強化につなげるため、伊勢志摩サミット開催中に、来県される各国首脳等に県内市町・大学を訪問していただき、姉妹都市関係、大学間協定をはじめとする歴史、文化、教育、産業等のつながりをふまえた伝統文化、特産品の発信等、県民との交流プログラムを実施しました。

なお、県や県内市町等からは、県内市町・大学の交流プログラムを在京大使館等に対し提案し、交流実現に向けた働きかけを行いました（提案内容は別添地図のとおり）。

2 交流内容

サミット開催期間中に実現した県民との交流は以下のとおりです。

(1) フック・ベトナム首相による伊勢神宮訪問

- ア 実施日時 5月27日(金) 16:50～18:00
- イ 場所 伊勢神宮(内宮)
- ウ 内容 伊勢神宮訪問と関係強化に向けた首相等との交流
- エ 参加者 (ベトナム) フック首相、閣僚5名 他随行者
(三重県) 鈴木知事、廣田雇用経済部長
(その他) 三ツ矢衆議院議員、小野三重県・ベトナム
友好協会会長、県民30名程度

(2) ベトナム閣僚による松阪市訪問

- ア 実施日時 5月27日(金) 9:15～11:15
- イ 場所 松阪もめん手織りセンター、旧長谷川邸 他
- ウ 内容 小学生の出迎え、松阪木綿機織り体験、松阪木綿の着物体験、茶席体験、松阪牛昼食 等
- エ 参加者 (ベトナム) マイ・ティエン・ズン政府官房長官、チャン・トゥアン・アイン商工大臣、ウ・クアン・ミン外務大臣補佐官、グエン・クオック・クオン駐日ベトナム大使、グエン・ズイ・フン首相補佐官他随行者12名
(三重県) 石垣副知事
(松阪市) 竹上市長、小林副市長、山路副市長、伊藤松阪市教育委員会委員長、松阪市議会議長、川口同副議長、谷川松阪商工会議所会頭兼松阪国際交流協会会長、松阪第一小学校5、6年生他
合計100名程度

(3) 英国首相同行プレスによる皇學館大学生との交流

- ア 実施日時 5月26日(木) 12:45~13:15
イ 場所 皇學館大学 祭礼教室
ウ 内容 雅楽部学生による演奏や舞の披露を通じた交流
エ 参加者 (英国) 英国首相同行プレス 19名
(三重県) 大橋伊勢志摩サミット三重県民会議事務局長
(皇學館大学) 学生 55名
教職員 20名

(4) アンヘル・グリア経済協力開発機構(OECD)事務総長の

伊勢神宮訪問

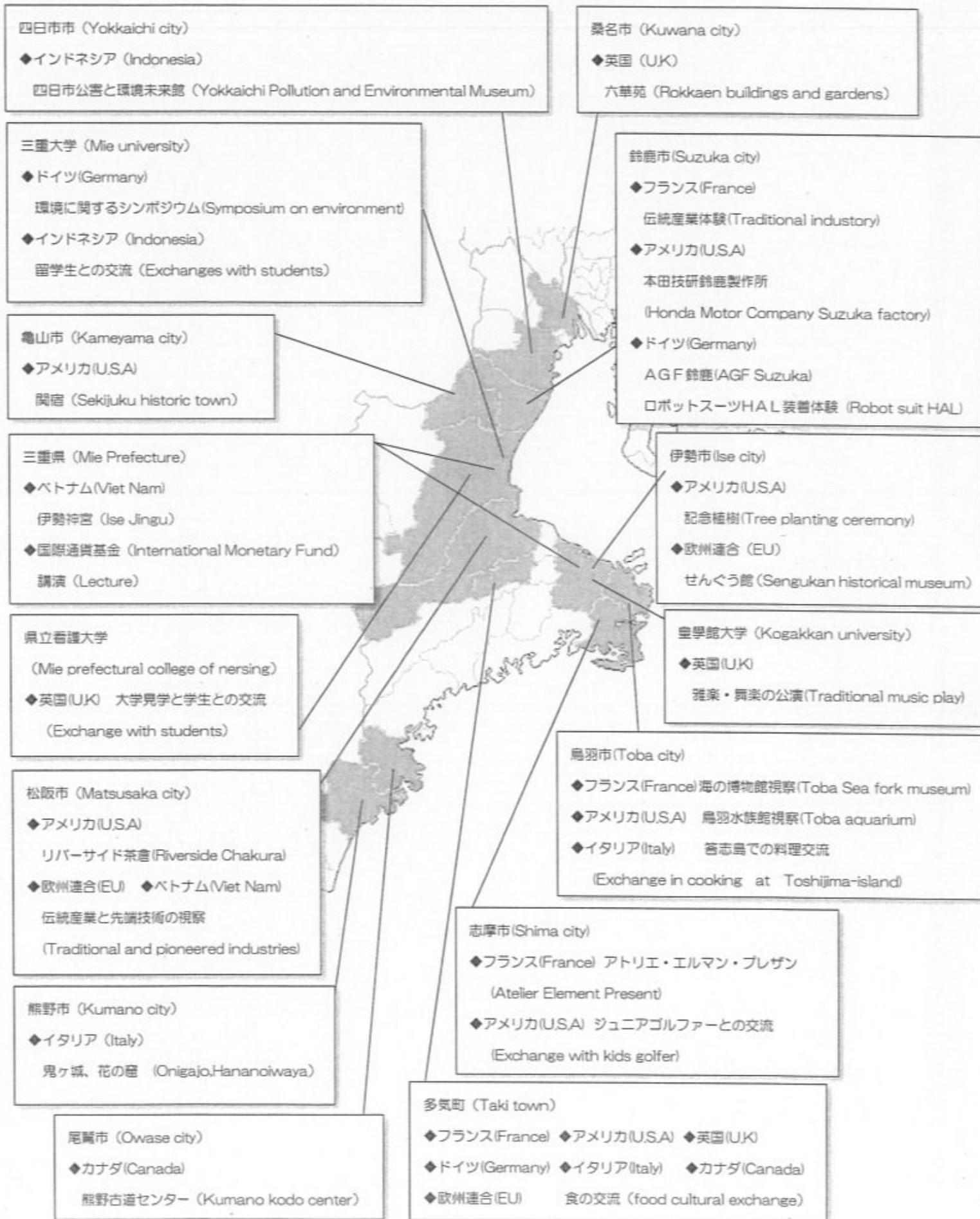
- ア 実施日時 5月27日(金) 14:45~15:50
イ 場所 伊勢神宮(内宮)
ウ 内容 伊勢神宮訪問と関係構築に向けた交流
エ 参加者 (OECD) アンヘル・グリア事務総長他5名
(三重県) 石垣副知事、岡田国際戦略課長

(5) クリスティーヌ・ラガルド国際通貨基金(IMF)専務理事の

ミキモト真珠島訪問

- ア 実施日時 5月27日(金) 15:20~16:15
イ 場所 ミキモト真珠島
ウ 内容 真珠博物館見学、パールプラザでのショッピング、
貴賓室での真珠取り出し体験、御木本幸吉像前で海女と
記念撮影 等
エ 参加者 (IMF) クリスティーヌ・ラガルド専務理事他4名
(三重県) 大橋伊勢志摩サミット三重県民会議事務局長
(鳥羽市) 木下副市長

世界との絆づくり
県内市町・大学等からの提案地図



平成28年6月20日

伊勢志摩サミット三重県民会議事務局

開催支援課

関係者の宿泊について

1 宿泊予約センター

サミット関係者の宿泊先の確保及び利用者への配宿を一元的に行うため、伊勢志摩サミット三重県民会議の公認機関である「伊勢志摩サミット宿泊予約センター（以下「センター」という。）」を設置しました。

センターは、サミット関係者の客室確保をはじめ、申込受付、配宿、精算といった宿泊手配業務、受入サポート、観光振興に係る取組等を行いました。宿泊者と宿泊施設の仲介業務による手数料収入で運営され、県民会議からセンター運営事業者に対して委託料等は支払っていません。

2 宿泊状況

(1) 宿泊者数

当初は、北海道洞爺湖サミットと同程度の延べ約50万3千人、1日あたり最大約2万5千人の関係者が宿泊することを想定していましたが、4月下旬の時点で、警備計画の変更等による影響を考慮し、延べ約40万6千人の宿泊、1日あたり最大約2万2千人の宿泊見込としました。

その後も、熊本地震や米大統領の広島訪問等の影響により、警備関係者の宿泊が減ったうえ、事前に多めに予約していた関係者による直前のキャンセル等もあり、最終的にセンターを通じた県内の宿泊実績は約37万人の宿泊になる見込です。

なお、センターを通さず、宿泊施設に直接予約した関係者も多数あるようですが、実態は把握していません。

(2) 地域及び期間

伊勢志摩地域のほか、津市、松阪市、菰野町、四日市市等、県内16市町の300を超える宿泊施設からセンターへ客室提供がありました。

センターでは各国代表団を始め、国内外の報道関係者、警備、消防、医療、インフラ整備の関係者等の宿泊の手配を行いました。多くはサミット開催数日前からの宿泊でした。警察関係者については3月から宿泊を開始しており、その多くはサミット終了までの長期にわたる宿泊でしたが、大型連休期間中の宿泊者数は、宿泊施設全体の数に比べるとそれほど多くなく、一般観光客の宿泊が困難になるほどのものではありませんでした。

3 課題と対応

(1) 風評被害

4月、5月の伊勢志摩方面への旅行について、「宿が取れないのではないかな」等の風評が一部であったため、観光局と県民会議とで連携し、旅行代理店や観光客への適時的確な情報提供、伊勢志摩観光PRに取り組むことにより、正確な理解の促進と誘客に努めました。

今年の大規模連休中の県内主要施設の観光入込客数は、1日あたりの人数では前年を上回っており、一定程度、対策の効果が出たものと思われま

(2) 宿泊施設の資金繰り

サミット関係者の実際の宿泊から宿泊予約センターを通じた宿泊料金の支払いまでの期間における運転資金の課題に対応するため、「サミット関連宿泊施設支援資金融資」を創設し、資金繰りの支援を行いました。

[内容]

- ①対象：サミット用務のため警察等関係者が宿泊する施設を営む宿泊業者
※センターを介したものに限る。
- ②資金使途：サミット関係者の宿泊に係る運転資金
- ③融資限度額：売掛債権（宿泊代金）の7割
- ④融資利率：無利子（県：年利2%分補助）
- ⑤融資期間：6ヶ月以内

[利用状況]

平成28年4月1日から受付開始。6月15日現在、79件：599,880千円の融資申込み。

(3) 宿泊取消・変更

熊本地震やオバマ大統領の広島訪問等の影響で、警備計画の変更が生じ、一部の宿泊施設において、急遽、宿泊予定であった部隊が来県しなくなったり、滞在中の部隊が予定よりも早く帰ってしまうというような事態が発生しました。

大規模な取消や変更があった施設については、関係者の協力により、可能な範囲で他施設との調整による再配宿を行うとともに、宿泊予約センターは、各施設との契約の規定に基づき取消料の支払い等の対応を行いました。県及び県民会議としては、今回の宿泊に協力いただいた全ての施設を対象に、今後の集客に向けた取組への支援策や、サミットの資産を活かした地域への観光誘客に一層取り組むことなど、今後の経営向上に向けた対応策を検討しているところです。

平成 28 年 6 月 20 日
伊勢志摩サミット三重県民会議事務局
開催支援課

プレス用シャトルバス運行について

1 目的

伊勢志摩サミットの取材のため海外から来県する報道関係者が、セントレア・宿泊ホテル間の公共交通機関による移動にあたって感じる負担や不便を軽減するため、津なぎさまちと海外プレスの宿泊先ホテルを結ぶ無料シャトルバスを運行しました。

2 取組内容

(1) 移動支援

①往路〔5月24日・25日〕

津なぎさまち発、津・松阪地区、伊勢地区、鳥羽地区行の3ルートของバスを高速船の到着時間に合わせ、津なぎさまち発 11:00～23:00 の間に各 10 便運行するよう手配しました。

②復路〔5月28日〕

上記3地区発、最寄の鉄道駅を経由し津なぎさまちに着くバスを高速船出発時間に合わせ、津なぎさまち着 5:30～18:30 の間に 12 便運行するよう手配しました。

③利用実績

5月24日：20名、 25日：20名、 28日：13名

海外報道関係者の来県が、外務省の想定より大幅に少なかった上、公共交通機関を利用した移動も少なかったのではないかと思います。

※運行手配した便のうち、乗車がないことが確認された便は運行を中止しました。また、当初想定していた航空機の発着が集中する時間帯の、津エアポートライン（高速船）への増便運航依頼は取り止めました。

(2) 情報発信

① 宿泊予約センターや外務省を通じた情報提供、セントレア内での看板設置等により、海外プレスに対し、セントレアから三重県（宿泊ホテル）への移動について、高速船利用ルートを推奨しました。

② シャトルバスの車中で三重の観光情報・トピックスに関する動画を流し情報発信に努めました。

外国語案内ボランティアについて

1 目的

伊勢志摩サミットの開催に際して、国際メディアセンターや県内主要駅等に設置するインフォメーションセンター等において、主に外国人報道関係者に対し、円滑な取材・報道活動を行っていただくため、ボランティアを募り、外国語による交通や観光の案内、三重県の情報発信等の支援を行いました。

2 募集概要

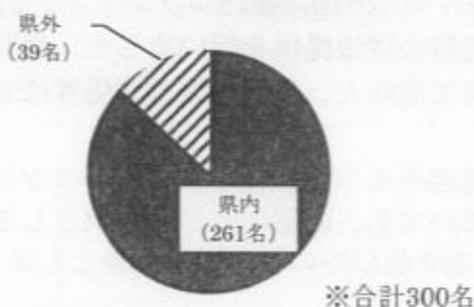
募集対象：英語による案内業務が可能な、県内外の一般、大学生、外国人留学生及び高校生等

募集期間：平成27年10月30日～12月10日

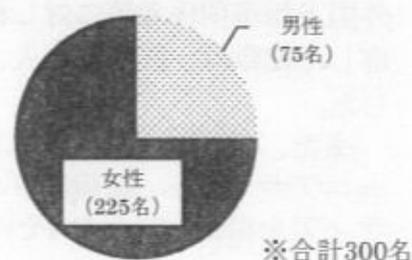
応募者数：1,003人

採用者数：300人（当初予定200人程度）

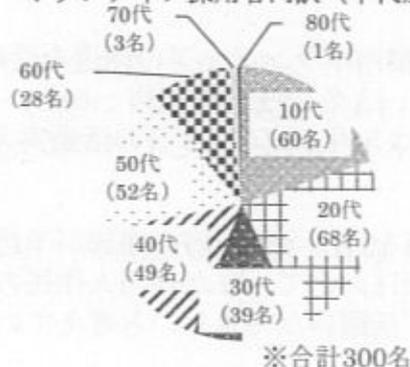
ボランティア採用者内訳（居住地別）



ボランティア採用者内訳（性別）



ボランティア採用者内訳（年代別）



英語に加え他言語にも対応可能な人材



3 活動概要

(1) 語学研修

第1回：平成28年2月14日（鈴鹿会場）、2月20日（伊勢会場）

参加者：計296名

第2回：平成28年3月13日（鈴鹿会場）、2月26日（伊勢会場）

参加者：計289名

(2) 接遇研修

平成28年4月15日（津会場）、16日（伊勢会場）、17日（鈴鹿会場）、計5回開催。

参加者：計281名

(3) 結団式

平成28年5月15日（津市センターパレスホール）

ボランティアID・ユニフォーム贈呈、決意表明、本番に向けた講習等を実施。

参加者：223名

(4) 外国語案内活動

平成28年5月20日から28日にかけて、国際メディアセンターや県内主要駅等に設置された11カ所のインフォメーション等において、外国語案内ボランティア277名が、外国人報道関係者等に対し移動・滞在・観光等の情報提供を行いました。期間中に対応した総数は、約7,500人、うち外国人は約2,700人、外国人報道関係者は940人でした。

また、インフォメーションセンター等以外のサミット関連事業（プレスツアー、ジュニアサミット、配偶者プログラム等）においても、要望に応じて通訳としてボランティアを派遣しました（その場合は、採用者300名以外の者も派遣対象としました）。

※採用者数との差は、必須である語学研修・接遇研修の欠席や採用後の個別の事情の変化等による。

(5) 解散式

平成28年6月11日（津市センターパレスホール）

感謝状授与、ボランティアからの活動報告、今後の活動案内、交流会等を実施。

活動報告では、メンバーの一人ひとりが誠実に任務にあたり、きちんと役割を果たした様子が述べられ、今回の活動を通じて知り合えた仲間との触れ合いと絆を大切に今後活動に活かしていこうと呼び掛けられました。

参加者：239名

(6) その他

企業・学校単位の協賛事業としても、外国語案内ボランティアの派遣を受けました。

日本トランスシティ㈱：10名、㈱百五銀行：13名、住友電装㈱：6名、

セントヨゼフ女子学園：33名（※人数は5月20日～28日の活動実人数）

4 今後の活動

三重県が進める海外誘客及びMICE誘致等を通じ今後一層の増加が予想される外国人来訪者とのコミュニケーションなどの場面において、また外国人住民の支援などの場面でも、今回の経験や語学力を活かしてご活躍いただきたいと思います。

平成28年6月20日
伊勢志摩サミット三重県民会議事務局
事業推進課

ジュニア・サミットの開催結果について

1 「2016年ジュニア・サミットin三重」の概要

ジュニア・サミットは、伊勢志摩サミットの関連行事として、国が主催し、G7各国から15～18才の若者28名が集まり、世界が直面する課題について、青少年の視点から英語で議論を行いました。

今回、三重県が提案した「次世代につなぐ地球～環境と持続可能な社会」を討議テーマとして議論し、意見をまとめ、成果文書『桑名ジュニア・コミュニケ』を安倍内閣総理大臣に届けました。

伊勢志摩サミット三重県民会議では、開催期間中、ジュニア・サミット参加者が三重県の魅力に触れるとともに、子ども達をはじめとする県民と交流する機会を提供しました。

2 開催内容

(1) 開催期間：平成28年4月22日から28日まで

＜プログラム＞

4月21日（木）桑名市到着

4月22日（金）開会式、会議

4月23日（土）会議、討議に資する視察、交流行事

4月24日（日）会議

4月25日（月）県内分散型体験・交流行事

4月26日（火）会議、成果発表会・三重県送別ランチ、東京に移動

4月27日（水）交流行事、安倍内閣総理大臣に成果文書提出

4月28日（木）都内視察

4月29日（金）東京出発

(2) 主会場：ナガシマリゾート（桑名市長島町浦安）

(3) 主催：外務省、共催：伊勢志摩サミット三重県民会議

3 討議及び成果文書『桑名ジュニア・コミュニケ』の概要

(1) 討議

参加者は、「次世代につなぐ地球～環境と持続可能な社会」をメインテーマに、次の4つのサブテーマごとに分科会形式で議論を行い、その結果を成果文書『桑名ジュニア・コミュニケ』にとりまとめました。

(2) 成果文書『桑名ジュニア・コミュニケ』

①気候変動と脱炭素化

気候変動に起因する様々な課題を解決するために、炭素税、排出量取引制度を活用したカーボン・プライシングを促進すること、再生可能エネルギー発電を推奨することの重要性が強調されました。また、都市部のインフラ開発を通じた温室効果ガスの低減についても触れられ、諸取組の実現に向けた日本のリーダーシップに期待する旨の議論がなされました。

②経済格差と包括的な経済成長

先進国と発展途上国の格差是正を図るためにどのような対策が可能か議論されました。この観点から、先進国から途上国への技術移転に着目し、先進国の企業に、技術移転を促すためのインセンティブの付与の可能性等について提案されました。また、汚職と租税回避の課題も取り上げられ、制度改革を通じた対策が必要との提案がなされました。

③人材育成

すべての子供達の初等・中等教育へのアクセスを可能にすることを念頭に、教育の質向上のための国際的な連携や、教育インフラ、教師のレベルの向上、先進国と途上国間の学校単位でのノウハウの共有を促す制度について提案がなされました。

④ジェンダーによる格差の克服

日本がリーダーシップを発揮している女性のエンパワメントの分野について、女性の社会進出を促すために、企業の働きやすさを採点形式で可視化していくことや、途上国においては基本的な女子教育の底上げを図るために、経済的支援も含めた制度設計をしていくこと等が提案されました。

4 討議に資する視察の概要

4月23日、討議テーマ「次世代につなぐ地球～環境と持続可能な社会」に基づき、環境保全と経済成長を両立し、健全な環境を次世代に継承し、持続可能な発展をする方策について議論するため、参加者及び付添人が、以下の3施設を視察しました。

(1) 赤須賀漁業協同組合

漁業者から、自然資源を持続的に利用するための干潟の環境調査や稚貝放流、漁獲量の制限等の取組を伺いました。

(2) 四日市公害と環境未来館

県立四日市高等学校の生徒や未来館職員、ICETT職員から、四日市公害の歴史や教訓を通じて、産業発展と環境保全を両立したまちづくりや環境保全技術の海外移転等の取組を伺いました。

(3) NTN株式会社先端技術研究所

二酸化炭素発生の削減や低炭素化社会実現のための自然エネルギー循環型モデルや省エネルギー技術の取組を伺い、エネルギーパークを視察しました。

5 分散型体験・交流行事の概要

4月25日、ジュニア・サミット参加者が、県内4コースに分散して各地を訪れ、三重の美しい自然や豊かな伝統・文化等を体験・体感するとともに、県民との交流を深めました。

当日、県内高校生が各コース7名ずつ参加し、各訪問先を案内するとともに、バス移動時間等を利用し交流を深めました。

【Aコース】

①御在所ロープウェイ（菰野町）

ロープウェイで伊勢平野や御在所岳を眺める空中散歩を楽しむとともに、山上公園では、雄大な展望と自然を楽しみながら散策しました。

②鈴鹿サーキット（鈴鹿市）

鈴鹿高等学校書道部による鈴鹿墨を用いた書道パフォーマンスの披露の後、伊勢型紙彫刻体験を行った。国際レーシングコースでの最先端EVマシン「サーキットチャレンジャー」の運転体験、マーシャルカーに同乗してのコース走行、バイクのデモレースの見学を行いました。

③関宿（亀山市）

関宿を散策し、玉屋資料館において、地元小学生による祭り囃子演奏や、亀山紅茶とお菓子によるおもてなしを受けながら、地元小中学生や地域住民と交流しました。

【Bコース】

①深野だんだん田（松阪市）

日本棚田百選に選ばれている「深野だんだん田」を見学し、伝統的な土木工学技術や棚田の機能を学ぶとともに、松阪牛肥育農家を見学し、実際にブラッシングや触れる体験を行いました。

②まごの店（多気町）

三重県立特別支援学校玉城わかば学園生徒の太鼓演奏による歓迎を受けた後、三重県立相可高等学校食物調理科の生徒とだし巻き卵や巻き寿司、鯉節削りの体験を行い、食物調理科の生徒が作った昼食を楽しみながら交流しました。

③一身田寺内町 専修寺（津市）

国の重要文化財に指定されている専修寺内の御影堂を見学するとともに、庭園・雲幽園内を散策し、茶室・安楽庵を見学しました。

【Cコース】

①伊賀流忍者博物館（伊賀市）

忍者衣装に着替えて、伊賀上野城の高石垣や上野公園を散策した後、忍者屋敷で様々なからくりを見学しました。また、迫力ある忍者ショーを見学し、一人3枚ずつ手裏剣打ち体験を行いました。

②赤目四十八滝（名張市）

不動滝、千手滝、布曳滝を見学しながら溪谷内を散策するとともに、日本サンショウウオセンターでは、サンショウウオについて飼育員から説明を受けた後、実際にオオサンショウウオに触れる体験を行いました。

【Dコース】

①伊勢神宮（伊勢市）

式年遷宮記念せんぐう館を見学するとともに、伊勢神宮（内宮）の視察を行いました。

②いつきのみや歴史体験館（明和町）

さいくう平安の杜の復元建物を見学し、いつきのみや歴史体験館にて、平安装束の試着や盤すごろく等、平安時代の遊びを体験しました。

6 桑名市交流行事「KUWANA NIGHT」

4月23日夜、ジュニア・サミット桑名市民会議が主催する交流行事「KUWANA NIGHT」がなばなの里で実施され、2,000余名の桑名市民が出迎える中、参加者は、石取祭の祭車を見学したり、太鼓や鉦の打ち鳴らしを体験するとともに、ハマグリ等のバーベキュー料理、ベゴニアガーデンやイルミネーションの見学を楽しみました。

7 ジュニア・サミットへの県民参加

(1) 県内の中・高校生等の参加

サミットの開催を一過性のものとせず開催の経験を「明日へつなぐ」ため、今回のジュニア・サミットに、一人でも多くの次代を担う子どもたちが参加する機会を設ける取組を展開しました。(42校・園、518名)

①日本代表参加者

- ・稲葉 陽樹 県立津高等学校 3年生 津市在住
- ・加藤 杏弥 県立川越高等学校 3年生 四日市市在住
- ・上堀内 陸王 私立東海高等学校(愛知県) 2年生 桑名市在住
- ・藤山 春衣 県立四日市高等学校 3年生 四日市市在住

②討議に資する視察及び県内分散型体験・交流行事への参加(案内・交流)

- ・討議に資する視察⇒県立四日市高等学校 9名
- ・県内分散型体験・交流行事⇒各地域の高校生(4コース×7名) 28名

③おもてなし

- ・県内農業高校等による花のプランターづくり(180個)
県立四日市農芸高等学校、県立久居農林高等学校、県立相可高等学校、
県立伊賀白鳳高等学校、県立明野高等学校、私立愛農学園農業高等学校
141名
- ・開催日程中のハンドベル演奏
私立セントヨゼフ女子学園高等学校・中学校 32名
- ・県内分散型体験・交流行事でのおもてなし
鈴鹿墨のパフォーマンス 私立鈴鹿高等学校書道部 14名
まごの店での昼食のふるまい 県立相可高等学校食物調理科 19名
太鼓演奏 県立特別支援学校玉城わかば学園 31名
歓迎 亀山市立関中学校 9名、松阪市立柿野小学校 21名
多気町立西外城田保育園 19名、多気町立佐奈保育園 22名
県立上野高等学校 40名、明和町立みどり保育所 30名
お囃子演奏 亀山市立関小学校 17名
- ・お別れセレモニーでの吹奏楽演奏等
県立白子高等学校吹奏楽部 30名
スタンド花作成 県立久居農林高等学校 3名
- ・参加者用名札(伊賀組紐)の作成
県立杉の子特別支援学校石薬師分校、県立特別支援学校伊賀つばさ学園
19名
- ・マイ箸袋(さをり織り)の作成
県立稲葉特別支援学校、県立特別支援学校西日野にじ学園 25名
- ・ウェルカムメッセージの作成(開発したまごごろ商品とともに)
県立相可高等学校生産経済科(万協製薬株式会社の協賛あり) 5名

(2) 県民の参加

分散型体験・交流行事での各地案内やおもてなし、交流や、討議・宿泊会場におけるサポートデスク設置(看護師・臨床心理士の配置、リフレッシュコーナーの設置等)等、県民や企業、団体の参加・協力を得て実施しました。

三重情報館における来場者数、展示コンテンツ等について

1 来場者数 ※報道関係者のみカウント

開催日時	延べ来場者数	うち外国人
5月24日(火) 8:00~22:00	1,126名	12名
5月25日(水) 8:00~22:00	3,672名	324名
5月26日(木) 6:00~22:00	4,889名	586名
5月27日(金) 6:00~22:00	2,880名	280名
5月28日(土) 6:00~12:00	162名	0名
合計	12,729名	1,202名

2 展示コンテンツ

No.	展示コンテンツ名	展示方法
1	伊勢志摩の自然	映像等
2	真珠	実物、映像等
3	三重熊野の自然	映像等
4	三重の木材	実物(ステージ)
5	海女	出演、映像等
6	伊賀流忍者	実演、画像等
7	桑名の千羽鶴	実物
8	斎宮	映像等
9	神宮	映像等
10	世界遺産熊野古道伊勢路	映像等
11	関宿	映像等
12	丸山千枚田と赤木城跡	映像等
13	餅街道	餅菓子振舞い等
14	伊賀くみひも	実演、実物、映像等
15	伊賀焼	実物、映像等
16	伊勢形紙	実演、実物、映像等
17	伊勢木綿	実物、外国語案内ボランティアの着用(一部)、映像等
18	鈴鹿墨	実演、実物、映像等
19	松阪木綿	実物、映像等
20	四日市萬古焼	実物、映像等
21	組子(指勘建具工芸)	実物
22	高級磁器食器(ナルミボーンチャイナ)(鳴海製陶株式会社・三重ナルミ株式会社)	実物
23	断熱・保温ペイント HIPエアロ(オキツモ株式会社)	実物
24	伊勢型紙文様を彫刻したジュラルミン削り出しスマートフォンケース(有限会社ギルドデザイン、株式会社オコシ型紙商店)	実物、映像等
25	三重県にて生産したフラッシュメモリー製品(サンディスクコーポレーション・サンディスク株式会社)	実物、映像等

26	夢の新素材 セルローズナノファイバー『レオクリスタ』 (第一工業製薬株式会社)	実物
27	低温焼成磁器製 照明器具 (有限会社泰成窯)	映像等
28	TMPS*担持触媒 (太陽化学株式会社)	実物
29	日本で唯一、国内屈指の抽出・発酵技術 (辻製油株式会社)	実物
30	競技用ヨーヨー (東海アヅミテクノ株式会社)	実物、映像等
31	精密減速機RV (ナブテスコ株式会社)	実物
32	可搬式ソーラーパネル nanoGrid (株式会社ナベル)	実物
33	蛍光表示管 (ノリタケ伊勢電子株式会社)	映像等
34	三重県産の消える筆記具『フリクション』 (パイロットインキ株式会社)	実物
35	デジタルサイネージ自動販売機 (富士電機株式会社)	映像等
36	真珠由来スキンケア (御木本製薬株式会社)	映像等
37	ゼオライト膜および濃縮日本酒 (三菱化学株式会社)	実物、映像等
38	マンション用電気錠 iEL Zero (美和ロック株式会社)	映像等
39	競技用二輪車 (株式会社モリワキエンジニアリング)	実物・映像等
40	屏風型吸音パーティション (株式会社リバ技研)	実物
41	リキッドアイスによる高鮮度保存技術 (NIT 株式会社、丸太水産)	映像等
42	あのりふぐ	映像等
43	伊勢えび	映像等
44	伊勢まだい	映像等
45	あわび	映像等
46	岩がき	映像等
47	ハマグリ	映像等
48	的矢かき	映像等
49	青さのり	映像等
50	ひじき	映像等
51	伊賀米コシヒカリ	映像等
52	結びの神	映像等
53	ハタケシメジ	映像等
54	ハナヒラタケ	映像等
55	南紀みかん	映像等
56	新姫	映像等
57	三重いちご (かおり野)	映像等
58	伊賀牛	映像等
59	熊野地鶏	映像等
60	松阪牛	映像等
61	みえジビエ	映像等
62	伊勢茶	振舞い、映像等
63	三重の日本酒	振舞い、実物、映像等

3 主な展示ツール

活用ツール	内容
大型ディスプレイ (メイン映像)	縦2.5m、幅9mの大型ディスプレイで、「The spiritual heart of japan」、「三重の自然と食」、「三重の技術」を上映。また、忍者や熊野古道の大型画像を背景に記念写真撮影を実施。
小型ディスプレイ (サブ映像)	40インチディスプレイで、伊勢神宮、斎宮、海女、伊勢志摩の自然、熊野古道、先端技術、伝統工芸などを紹介。
ステージ	伊勢神宮の宇治橋をイメージした、尾鷲ひのき (FSC 認証) を使用した大型ステージ。樹木や書等を活用した空間演出。
人型ロボット 「Pepper」	三重県庁臨時職員、Pepper による三重県情報の発信 (ソフトバンク株式会社協賛)。
仮想試着システム	ディスプレイ装置を活用した伊勢木綿の着物や忍者衣装の仮想試着 (東芝ソリューション株式会社協賛)。
デジタル情報スタンド 「PONTANA」	スマートフォンを活用して展示コンテンツの詳細情報や三重の観光情報を電子データで持ち帰りいただく (西日本電信電話株式会社、株式会社ミライト協賛)。

4 主な実演プログラムのスケジュール

月日	時間	内容
5月25日(水)	11:00~15:00の間に複数回実施 (パフォーマンスは11:00~、実演は随時)	鈴鹿墨を使用した書のパフォーマンス、書の実演
5月25日(水)	18:00~20:00	三重県内35全ての蔵元(各1銘柄)からの日本酒を萬古焼で振舞い
5月26日(木)	10:00~15:00も間に複数回実施 (初回は10:00~)	伊勢型紙の実演
5月26日(木)	18:00~21:00の間に3回実施 (初回は18:00~)	伊賀忍者特殊軍団「阿修羅」による忍者ショー
5月27日(金)	10:30~11:30	伊賀くみひもの実演
5月27日(金)	12:00~14:00の間に3回実施 (初回は12:00~)	現役海女による講話と対話
5月25日(水) ~28日(土)	随時	萬古焼と伊賀焼の湯呑で伊勢木綿の着物を着用したスタッフが伊勢茶を振舞い。さらに三重の餅菓子9種類を振舞い。

平成 28 年 6 月 20 日

伊勢志摩サミット三重県民会議事務局

国際メディアセンター完成式及び完成記念祝典について

5 月 22 日（日）、国内外の報道関係者の情報発信拠点となる国際メディアセンター完成式を外務省及び県民会議の共催で、また、国際メディアセンターの完成を祝し、伊勢志摩サミットの開催を県内外に発信するための「国際メディアセンター完成記念祝典」を県民会議主催で、開催しました。

1 国際メディアセンター完成式

(1) 日時 平成 28 年 5 月 22 日（日）11 時から 11 時 20 分

(2) 場所 国際メディアセンター・アネックス 1 階 エントランス

(3) 出席者 27 名

菅内閣官房長官、鈴木三重県知事（伊勢志摩サミット三重県民会議会長。以下、「鈴木知事。」）、G7 各国大使館関係者、県選出国會議員、関係県議會議員、県内市町長、その他関係企業・団体等

(4) 式次第

主催者あいさつ（菅内閣官房長官）

（鈴木知事）

来賓あいさつ（三ツ矢衆議院議員）

テープカット（菅内閣官房長官、鈴木知事、三ツ矢衆議院議員、吉川参議院議員、鈴木伊勢市長、蔦田鴻池組社長）



2 内覧

完成式の出席者は、引き続きアネックス内の政府広報スペース、三重情報館を内覧しました。

3 国際メディアセンター完成記念祝典

(1) 日時 平成28年5月22日(日) 11時45分から12時40分

(2) 場所 国際メディアセンター・アネックス 1階 ダイニング

(3) 出席者 153名

県民会議(会長、副会長、理事等)、菅内閣官房長官、G7各国大使館関係者、国内外報道関係者、県選出国會議員、関係県議會議員、県内市町長、その他関係企業・団体等

(4) 式次第

オープニング(日本太鼓財団による太鼓の披露)

主催者あいさつ(鈴木知事(伊勢志摩サミット三重県民會議會長))

鏡開き (県民會議會長(鈴木知事)・副會長(大口志摩市長、中村三重縣議會議長、雲井三重縣觀光連盟會長)、菅内閣官房長官、三ツ矢衆議院議員、中川(康)衆議院議員、吉川參議院議員、三田中部經濟連合會會長、平井堅氏)

乾杯あいさつ(菅内閣官房長官) ※乾杯酒:おかげさま「大吟醸」

アトラクション(伊勢志摩サミット公認サポーター 平井堅氏によるサミット応援ソング「TIME」の披露)

閉会あいさつ(鈴木伊勢市長)

(5) 料理

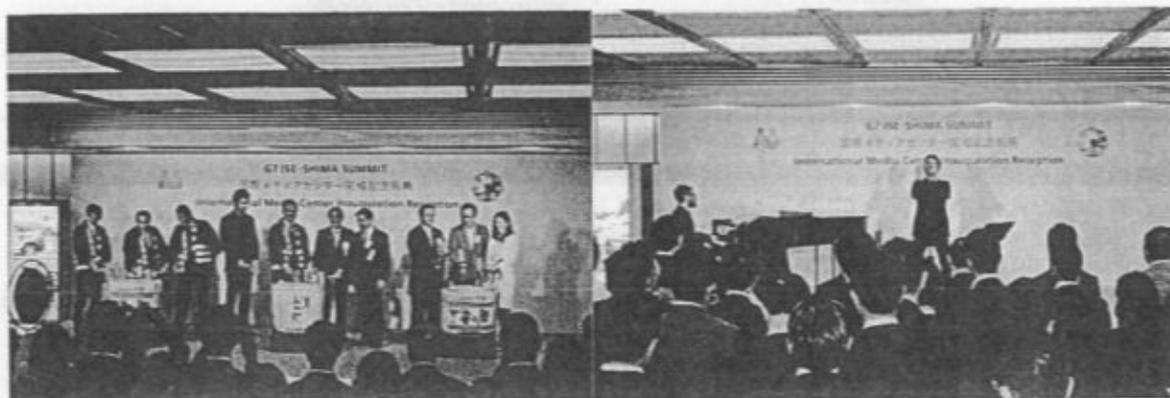
サミット時にダイニングを運営する事業者による料理の提供で、メニューは同じではないものの、サミットの雰囲気味わっていただくことができました。

(6) 会場装飾

先遣隊の歓迎夕食会で協賛いただいた「草月会」、「真生流」、「池坊」による華の装飾を行いました。

(7) 協賛

(株)伊勢萬、アサヒビール(株)、味の素ゼネラルフーズ(株)、尾鷲名水(株)、JAグループ三重



平成28年6月20日
伊勢志摩サミット三重県民会議事務局
事業推進課

IMCアネックスの公開について

サミットの現場を、次世代を担う県内小・中・高等学校生をはじめ、県民の皆さまに肌で感じていただくため、サミット終了後の平成28年5月30日(月)から6月10日(金)まで、IMC仮設施設(以下、IMCアネックス)を部分的に公開しました。

1 公開施設

IMCアネックス1階(政府広報展示スペース、三重情報館、ダイニングスペース)
IMCアネックス2階(ブリーフィングルーム)

2 対象・公開期間

- ・県内小・中・高・特別支援学校の児童・生徒2,424名(引率者含む)
平成28年5月30日(月)～6月10日(金)(平日のみ)9:00～16:00
- ・子どもふるさとサミット参加者及び三重の高校生サミット参加者103名(保護者含む)
平成28年6月4日(土)9:00～14:00
- ・一般県民等 1,040名
平成28年6月4日(土)13:00～16:00、5日(日)9:00～16:00

『三重のおもてなしバッグ』について

1. 配布対象者：国内外報道関係者及び各国政府代表団
2. 目的：県民のおもてなしの心と歓迎の意を表すとともに、三重の持つさまざまな魅力を伝える
3. 作成にあたっての取組方針
 - (1) 企業や団体からの協賛を得ることを基本とする
 - (2) 三重県及び伊勢志摩の広報資料を厳選して収納する
 - (3) 収納する物品等は、国との重複をさける
4. 配布数 約3,600袋
5. 収納物品等(収納物品の写真は別添参照)
 - (1) 三重県及び伊勢志摩の広報資料セット

①	〇和-THE SPIRIT OF WA- 〇ISE SHIMA 〇ISE JINGU
---	--

(2) 三重の魅力を伝える

〇県内施設入場券

②	施設名称	鈴鹿サーキット
	企業名	株式会社モビリティランド
③	施設名称	伊勢・安土桃山文化村
	企業名	株式会社 伊勢・安土桃山文化村
④	施設名称	鳥羽水族館
	企業名	株式会社鳥羽水族館
⑤	施設名称	伊賀流忍者博物館
	団体名	一般社団法人伊賀上野観光協会
⑥	施設名称	三重県総合博物館、斎宮歴史博物館、三重県立美術館
	自治体名	三重県

〇地元自治体提供品

⑦	商品名	海女の魔除け印ハンカチ
	自治体名	鳥羽市

(3) すぐに使える実用品

〇事務用品等

⑧	商品名	uni-ball Signo 307
	企業名	三菱鉛筆株式会社／第一工業製薬株式会社
⑨	商品名	ポスト・イット® 強粘着モバイルメモ
	企業名	スリーエム ジャパン株式会社
⑩	商品名	アエルマスク
	企業名	亀山製絲株式会社
⑪	商品名	G2TAMコインおしぼり
	企業名	株式会社ピーキューテクノ

〇飲食物等

⑫	商品名	ベビースターラーメン
	企業名	株式会社おやつカンパニー
⑬	商品名	28gおにぎりせんべい
	企業名	株式会社マスマ
⑭	商品名	〈煎〉レギュラー・コーヒー 上乘セドリッブ 淡麗薄口珈琲／香醇濃口珈琲
	企業名	AGF鈴鹿株式会社

〇その他

⑮	商品名	三重交通バス全線無料乗車証
	企業名	三重交通株式会社

和

ISE SHIMA
JAPAN

神宮
ISE-JINGU

日本
JAPAN

伊勢志摩 サミット2016

2016年5月26日-27日

5/26日-27日

伊勢で知る
島の秘密

日本のモビリティ文化の原点
踏襲サミット

Welcome to the Japanese!

招待券
MAY 2016



伊勢志摩サミット
実行委員会
代表 伊藤 隆夫
副代表 伊藤 隆夫



サミットバッグ内容物一覧

品名	備考
「Discover the Spirit of Japan」	日本の情景や人々の日常生活の様子を紹介するDVD
「We are TOMODACHI」	最新の政府施策や我が国の国際貢献、技術、文化交流等を紹介する政府公式海外広報誌。
「ABENOMICS IS PROGRESSING」	政府が掲げる経済政策「アベノミクス」の進捗状況・成果について説明するパンフレット。
フリクションペン	消せるボールペン。筆跡が乾いてから専用ラバーでこすると色が消える。
文房具一式	伊勢志摩サミットロゴマークが入ったメモパッド及びクリアファイル。
東京2020公式クリアファイル	2020年東京開催の東京オリンピック・パラリンピックの公式クリアファイル。
ラグビーW杯2019公式ピンバッジ	2019年日本開催のラグビーW杯の公式ピンバッジ。
日本酒	三重県産の日本酒(銘柄は数種類ある)。ラベルに安倍総理揮毫の「國酒」を使用。
お猪口	いにしえより日本屈指の焼き物産地である常滑焼、萬古焼、瀬戸焼、美濃焼のお猪口。
歌舞伎フェイスパック	歌舞伎の隈取がプリントされたフェイスパック。
熊野筆チークブラシ	「筆の都」広島県熊野町で生産されているチークブラシ。
将棋グッズ	将棋の駒ストラップ
リンゴ型タオル	「人道の港敦賀」を象徴する品。ナチスの迫害から逃れ敦賀港に降り立ったユダヤ人難民に対し、ひとりの少年がそっとリンゴを差し出したエピソードに基づき作成された。
お菓子各種	ハイチュウ、宇治抹茶カステラ、カントリーマアム、ポッキー

平成28年6月20日

伊勢志摩サミット三重県民会議事務局

事業推進課

プレス等を活用した情報発信について

1 目的

伊勢志摩サミット開催を三重の魅力国内外に発信する絶好の機会と捉え、プレスツアーの実施により、海外のメディアに三重県取材する機会を提供するとともに、世界的な発信力のあるメディアを活用した広告掲載等を行い、三重県の認知度を高め、ブランドイメージの確立・浸透を図るとともに、開催後のインバウンドをはじめとする観光客の増加や県産品の販売増につなげます。

2 事業の概要

プレスツアーについては、県民会議主催分や外務省主催分等を含めて、22回実施し、36ヶ国の記者の方に取材いただくとともに、有力メディアを活用したPRとして、有料広告への記事の掲載やPR映像の放映等を行いました。

(1) プレスツアー（取材場所・報道状況の詳細については、別添1～3のとおり）

① 県民会議主催プレスツアー

	日時	取材地域	取材国	メディア数	報道回数
第1回	12月7日 ～8日	伊賀地域 松阪市	中、韓、独、米、露	11社	10回
第2回	2月17日 ～18日	東紀州地域	カザフスタン、仏、米	3社	1回
第3回	5月11日 ～13日	中南勢地域 鈴鹿市	米、仏、独、越、中、スイ ス、ベトナム、UAE	8社	13回
合計	—	—	—	22社	24回

② 海外の富裕層への戦略プロモーション事業（県民会議主催）

	日時	取材地域	招へい者	メディア数	報道回数
第1回	2月15日 ～19日	中南勢地域 伊賀地域	フランス著名シェフ (シシル・リニャック氏) 及び海外メディア(仏)	3社	4回
第2回	3月3日 ～6日	中南勢地域 亀山市、伊賀市	欧米を中心とする 海外メディア(英、伊)	6社	13回
第3回	3月28日 ～30日	中南勢地域 東紀州地域	著名シェフ(NOBU氏) 及び海外メディア	1社	1回
合計	—	—	—	10社	18回

(注1) シシル・リニャック氏は、16歳から料理を学び、パリの有名レストランのシェフであるアランパッサール、ブルセル兄弟に師事した実力を持ち、現在はパリの一つ星レストラン「ル・キャンジエム」のオーナーシェフです。

(注2) NOBU氏は、寿司職人として東京・新宿「松栄鮨」で修業した後、ペルー、アルゼンチン、アラスカでのレストランの経験を経て、1987年にビバリーヒルズに「Matsuhisa」を開店。ハリウッドの著名人たちを魅了する人気店となっています。

③外務省主催プレスツアー

	日時	取材地域	取材国	メディア数	報道回数
第1回	8月27日～28日	北勢地域	ASEAN10ヶ国	10社	11回
第2回	8月30日～31日	南勢地域	中東5ヶ国(注3)	5社	1回
第3回	10月30日～31日	南勢地域	ベルギー	1社	2回
第4回	11月14日～15日	中南勢地域	イスラエル	1社	2回
第5回	1月30日	南勢地域	クウェート	1社	2回
第6回	5月11日～13日	中南勢地域	米、英、伊、加、仏	6社	1回
第7回	5月25日、28日	南勢地域	11ヶ国(注4)	11社	1回
第8回	5月26日、28日	中南勢地域	ケニア	1社	2回
第9回	5月28日	南勢地域	ベトナム	1社	-
合計	-	-	-	37社	22回

(注3) 第2回については、エジプト、ヨルダン、カタール、トルコ、UAEの中東5ヶ国の海外プレスが取材を行いました。

(注4) 第7回については、エジプト、エチオピア、ケニア、ヨルダン、インド、トルコ、フィリピン、マレーシア、ラオス、バングラデシュ、パプアニューギニアの11ヶ国の海外プレスが取材を行いました。

④その他団体等主催プレスツアー

番号	主催	日時	取材地域	取材国	メディア数
1	-	9月5日	南勢地域	英	1社
2	-	1月15日 ～16日	南勢地域	独	1社
3	関西地域 振興財団	1月23日 ～24日	南勢地域、伊賀地域	英、露	5社
4	JETRO	2月15日 ～18日	伊賀地域、中南勢地域 東紀州地域	香港	1社
5	日韓文化 交流基金	2月23日	中南勢地域	韓国	8社
6	環境省	3月8日 ～10日	南勢地域	中、韓、比、印、 バングラデッシュ、 伊、スペイン	9社
7	関西地域 振興財団	4月4日 ～5日	南勢地域	中、韓、台、日、 独、伊	10社
合計	-	-	-	-	35社

(2) プレスツアーをきっかけにしたイベント

3月28日～30日に、著名シェフのNOBU(松久信幸)氏を招へいし、プレスツアーを実施した結果、同行した業者より、5月23日～27日に首都圏を中心にした61店舗で「みえ伊勢志摩サミットフェア」が実施され三重の魚介類が販売されました。

(3) プレスツアーをきっかけにした輸出

2月17日～18日に、独立行政法人日本貿易振興機構(JETRO)と連携したプレスツアーを実施した結果、香港テレビで知事インタビューを含む三重県の紹介番組がWebで公開されました。

また、県産品2商品は既にショッピングモールでの販売を開始し、その他2商品も7月以降に取扱が開始される予定です。

(4) 有力メディアを活用した PR

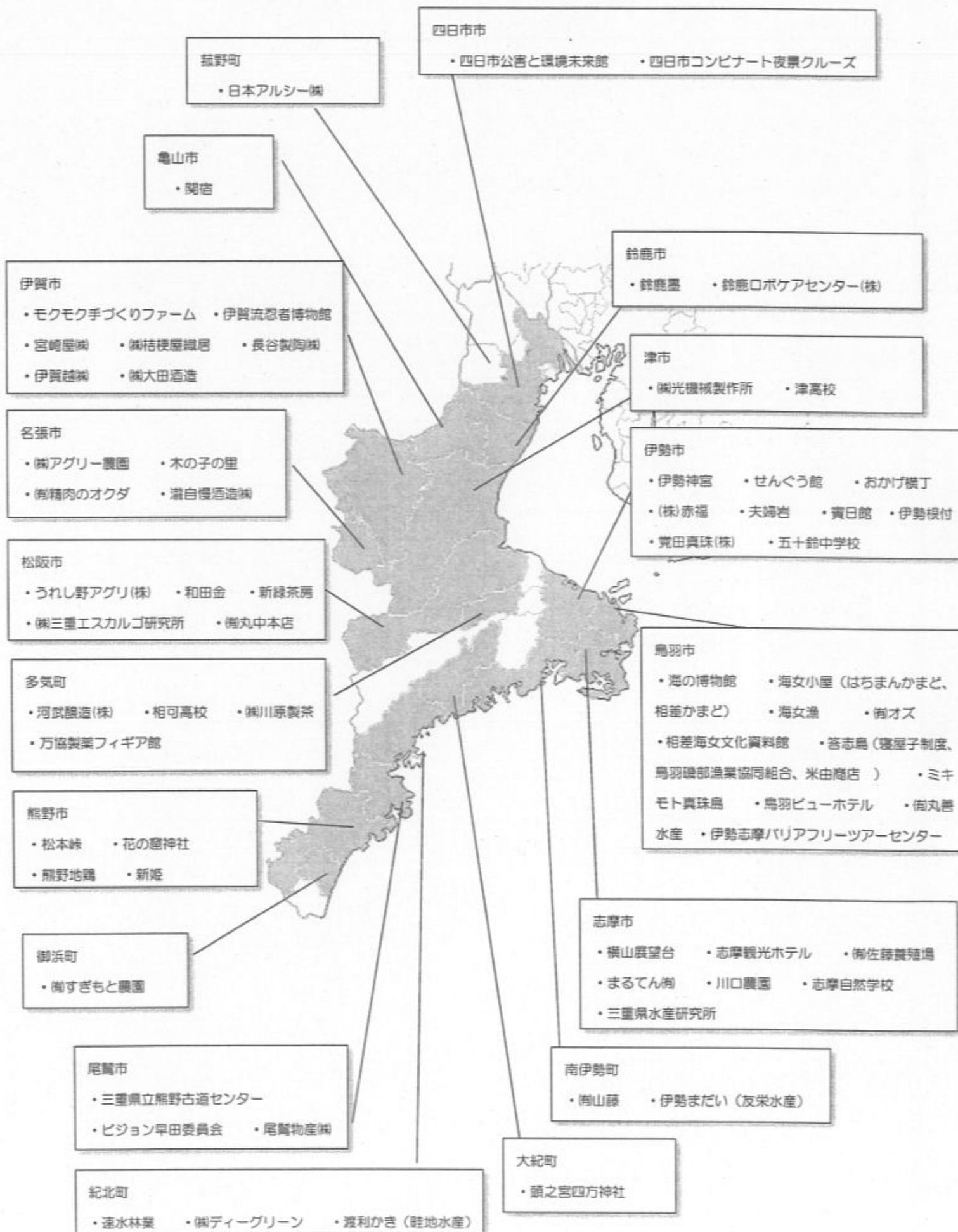
○平成 27 年度

- ・ Newsweek U. S. 版への知事インタビュー及び広告の掲載
- ・ ANA 国際線等における機内誌や映像等による三重県 PR
- ・ CNN での三重県 TVCM の放映

○平成 28 年度

- ・ AP 通信社による三重県 PR 映像等の作成及び配信
- ・ ウォール・ストリート・ジャーナル紙サミット特集号への三重県 PR 記事及び広告の掲載
- ・ ジャパンタイムズ紙サミット特集号への三重県 PR 記事及び広告の掲載
- ・ フィナンシャル・タイムズ紙への三重県 PR 広告の掲載
- ・ 海外有力メディアが行う取材等への積極的な協力
 フィナンシャル・タイムズ紙サミット特集号での記事化
 ARD ドイツテレビによる三重県の魅力の映像化 等

海外プレスツアー各市町別取材箇所



プレスツアーにおける取材場所について

1 県民会議主催プレスツアー

	日時	取材場所
第1回	12月7日～8日	モクモク手づくりファーム(伊賀市)、伊賀流忍者博物館、 ㈱アグリ農園(名張市)、木の子の里(名張市)、 うれし野アグリ(松阪市)、知事インタビュー
第2回	2月17日～18日	速水林業(紀北町)、三重県立熊野古道センター(尾鷲市)、 松本峠(熊野市)、花の窟神社(熊野市)、 ビジョン早田委員会(尾鷲市)、尾鷲物産㈱、 ㈱ディーグリーン(紀北町)、知事インタビュー
第3回	5月11日～12日	伊勢神宮、志摩観光ホテル、答志島(寝屋子制度、鳥羽 磯部漁業協同組合)、鈴鹿墨、光機械製作所(津市)

2 海外の富裕層への戦略的プロモーション事業

	日時	取材場所
第1回	2月15日～19日	宮崎屋㈱(伊賀市)、せんぐう館、㈱佐藤養殖場(志摩市)、 海の博物館(鳥羽市)、答志島、まるてん㈱(志摩市)、 伊勢神宮、おかげ横丁、相可高校(多気町)、 ㈱三重エスカルゴ研究所(松阪市)、 ㈱桔梗屋織居(伊賀市)、㈱精肉のオクダ(名張市)、 瀧自慢酒造㈱(名張市)
第2回	3月3日～6日	鳥羽ビューホテル、横山展望台(志摩市)、志摩観光ホテル、 まるてん㈱(志摩市)、海女小屋(相差かまど)(鳥羽市)、 和田金(松阪市)、せんぐう館、伊勢神宮、赤福 (五十鈴茶屋)、おかげ横丁、夫婦岩(伊勢市)、賓日館 (伊勢市)、ミキモト真珠島(鳥羽市)、関宿(亀山市)、 長谷製陶㈱(伊賀市)、伊賀流忍者博物館
第3回	3月28日～30日	せんぐう館、伊勢神宮、相差海女文化資料館(鳥羽市)、 海女小屋(相差かまど)(鳥羽市)、 友栄水産(伊勢まだい)(南伊勢町)、 畦地水産(渡利かき)(紀北町)、尾鷲物産㈱、熊野地鶏、 新姫(熊野市)、新緑茶房(松阪市)

3 外務省主催プレスツアー

	日時	取材場所
第1回 (ASEAN10ヶ国)	8月27日～28日	四日市公害と環境未来館、 日本アルシー(株)(菰野町)、 四日市コンビナート夜景クルーズ
第2回 (中東5ヶ国)	8月30日～31日	せんぐう館、伊勢神宮、おかげ横丁、横山展望台 (志摩市)、海の博物館(鳥羽市)、海女小屋(は ちまんかまど)(鳥羽市)
第3回 (ベルギー)	10月30日～31日	伊勢神宮、おかげ横丁、ミキモト真珠島(鳥羽市)、 海女小屋(はちまんかまど)(鳥羽市)
第4回 (イスラエル)	11月14日～15日	米由商店(鳥羽市)、河武醸造(多気町)、 頭之宮四方神社(大紀町)
第5回 (クウェート)	1月30日	佐藤養殖場(志摩市)、 海女小屋(はちまんかまど)(鳥羽市)、 伊勢神宮、おかげ横丁、有限会社オズ(鳥羽市)
第6回 (G7の5ヶ国)	5月11日～13日	伊勢神宮、志摩観光ホテル、答志島(寝屋子制度、 鳥羽磯部漁業協同組合)、鈴鹿墨、光機械製作所(津 市)、航空宇宙産業振興・みえライフイノベーション 総合特区、鈴鹿ロボケアセンター、伊勢根付
第7回 (11ヶ国)	5月25日、28日	光機械製作所(津市)、伊勢市立五十鈴中学校、海 女漁と海女小屋(はちまんかまど)、伊勢神宮、お かげ横丁
第8回 (ケニア)	5月26日、28日	津高校、海女漁と海女小屋(相差かまど)、伊勢神 宮、おかげ横丁
第9回 (ベトナム)	5月28日	伊勢神宮、おかげ横丁、海女漁と海女小屋(はち まんかまど)

4 その他団体等主催プレスツアー

主催	日時	取材場所
—	9月5日	伊勢神宮、横山展望台(志摩市)
—	1月15日～16日	志摩観光ホテル、伊勢神宮
関西地域 振興財団	1月23日～24日	志摩観光ホテル、横山展望台(志摩市)、 海女小屋(はちまんかまど)(鳥羽市)、 ミキモト真珠島(鳥羽市)、 夫婦岩(伊勢市)、伊勢神宮
(独) 日本貿易 振興機構 (JETRO)	2月15日～18日	長谷製陶(株)(伊賀市)、伊賀流忍者博物館、 伊賀越(株)、(株)大田酒造(伊賀市)、せんぐう館、 伊勢神宮、おかげ横丁、ミキモト真珠島(鳥羽市)、 (株)丸善水産(鳥羽市)、 海女小屋(はちまんかまど)(鳥羽市)、 川口農園(志摩市)、(株)山藤(南伊勢町)、 (株)川原製茶(多気町)、(株)すぎもと農園(御浜町)、 尾鷲物産(株)、(株)ディーグリーン(紀北町)、 和田金(松阪市)、(株)丸中本店(松阪市)、 知事インタビュー

日韓文化交流基金	2月23日	扇芳閣(鳥羽市)、伊勢志摩バリアフリースターセンター(鳥羽市)、ミキモト真珠島(鳥羽市)、海の博物館、万協製薬フィギア館(多気町)
環境省	3月8日～10日	伊勢神宮、おかげ横丁、海の博物館(鳥羽市)、まるてん(有) (志摩市)、志摩自然学校、友栄水産(南伊勢町)、ミキモト真珠島(鳥羽市)、海女文化資料館(鳥羽市)
関西地域振興財団	4月4日～5日	覚田真珠(伊勢市)、横山展望台(志摩市)、志摩自然学校、三重県水産研究所(志摩市)、志摩観光ホテル、夫婦岩(伊勢市)

プレスツアーの取材に基づく報道状況について

1. 県民会議主催プレスツアー

(1) 第1回 (12/7~8) 取材地：伊賀市、名張市、松阪市

国名	社名	記事等タイトル
中国	金融時報 (新聞)	日本の地域活性化には長い道のり
	人民日報 (新聞)	伊賀流忍者博物館を訪ねて
	亜太日報 (新聞)	日本の近代史の裏に“隠密の力”
	法制日報 (新聞)	日本は数多くの政策により 農村経済の発展を支援
韓国	SBS TV	「忍者」を前面に出し観光客を誘致 8年ぶりに韓国を追い越す
	YTN TV	観光大国を狙う日本 「忍者を押し出せ」
ドイツ	フランクフルター・アルゲマイネ・ ツァイトゥング (新聞)	野心的な日本の農家
スイス	ノイエ・チュルヒャー・ ツァイトゥング (新聞)	同上
ロシア	ロシア24TV	今日の忍者
ニュージー ランド	ファーマーズウィークリー (Web)	六次産業化で更に儲かる農家

(2) 第2回 (2/17~18) 取材地：紀北町、熊野市、尾鷲市

国名	社名	記事等タイトル
カザフ スタン	24KZ (テレビ)	日本、漁師と水産加工業者の 確保が喫緊の課題

(3) 第3回 (5/11~13) 取材地：志摩市、鳥羽市、伊勢市、鈴鹿市、津市

国名	社名	記事等タイトル
ドイツ	ドイツ写真通信社 (新聞)	G7サミットに向けテロ対策訓練
	ARDドイツテレビ (テレビ)	「自然！瞑想！調和！」、「行くな！そう ではない！生まれ！」
フランス	AFP (通信社)	日本G7テロ対策訓練
アメリカ	ブルームバーグ (通信社)	安倍首相が宗教を推し進めるなか、日本の 神社は危機に
ベトナム	ベトナムニュース (通信社)	「伊勢神宮、日出国で一番神聖な神社」、 「日出国で最も神聖な場所への巡礼」、「鈴 鹿墨」、「1200年の歴史をもつ墨の加 工技術を日本で発見」、「答志島 日本特 有の伝統を受け継ぐ」、「答志島 地域の つながりパート1」、「答志島 地域のつ ながりパート2」、「答志島 (魚市場、競 りの様子)」

2 海外の富裕層への戦略プロモーション事業

(1) フランスの著名シェフ及び海外メディアを招へい (2/15-19)

取材地：伊賀市、志摩市、鳥羽市、伊勢市、多気町、松阪市、名張市

国名	社名	記事等タイトル
フランス	VOYAGE (Web)	伊賀上野
	リートラベル (Web)	三重の食文化
	ル・モンド (Web)	自然と美食の
	デイリーミール (Web)	旅の味

(2) 欧米を中心とする海外メディアを招へい (3/3-6)

取材地：鳥羽市、志摩市、松阪市、伊勢市、亀山市、伊賀市

国名	社名	記事等タイトル
イギリス	BBC	海女たちにとってのサミット景気
イタリア	TGCOM24 (テレビ)	日本のG7、知事インタビュー
	ILSOLE24 (新聞)	G7
	Food Confidential (Web)	「海女は、平和で調和に満ちた微笑みをくれた素晴らしい女性たち」、「おかげ横丁」、「かつお節」、「松阪牛」、「赤福」
	SETTE (雑誌)	G7に日本が「賭ける精神性と真珠漁」
	CLASS (雑誌)	G7の開催地はもともと美食に溢れた場所
イタリア	VANITYFAIR (雑誌)	いいもの発見
日本	The Japan Times (雑誌)	伊勢神宮：世界に語られるべき物語

(3) 著名シェフ及び海外メディアを招へい (3/28-30)

取材地：伊勢市、鳥羽市、南伊勢町、紀北町、尾鷲市、熊野市、松阪市

国名	社名	記事等タイトル
日本	ジャパントラベル (Web)	三重県

3. 外務省主催プレスツアー

(1) 第1回 (ASEAN10ヶ国) (8/27-28) 取材地：四日市市、菟野町

国名	社名	記事等タイトル
タイ	デイリー・ニュース紙 (新聞)	地域と産業が共生する三重
ブルネイ	ボルネオ・プレティン紙 (新聞)	産業と環境にやさしい四日市

(2) 第2回 (中東5ヶ国) (8/30-31) 取材地：伊勢市、鳥羽市

国名	社名	記事等タイトル
カタール	アルジャジーラ・ネット紙 (Web)	日本、アラブ人の目からみて (副題：真珠の町、志摩)

(3) 第3回 (ベルギー) (10/30-31) 取材地：伊勢市、鳥羽市

国名	社名	記事等タイトル
ベルギー	モルゲン誌 (雑誌)	現代的な国に伝統的な精神
	ヘット・ヴァカンティサロン誌 (雑誌)	日本が熱い

(4) 第4回 (イスラエル) (11/14-15) 取材地: 鳥羽市、多気町、大紀町

国名	社名	記事等タイトル
イスラエル	ハアレツ紙 (新聞)	日本は乗り越えるために支援を得ることを学んでいる
	ハアレツ紙 (新聞)	魚と人々について

(5) 第5回 (クウェート) (1/30-31) 取材地: 志摩市、鳥羽市、伊勢市

国名	社名	記事等タイトル
クウェート	アル・アンバー紙 (新聞)	すばらしい国日本
	クウェートタイムズ紙 (新聞)	同上

(6) 第6回 (G7の5ヶ国) (5/11-13) 取材地: 鳥羽市、伊勢市、鈴鹿市、津市

国名	社名	記事等タイトル
イギリス	ザ・ヘラルド紙 (新聞)	我々スコットランド人は日本人から多くを学ぶことができる

(7) 第7回 (11ヶ国) (5/25、28) 取材地: 鳥羽市、伊勢市

国名	社名	記事等タイトル
ラオス	ラオス国営通信 (通信社)	三重県では漁の伝統が素晴らしく保護されている

(8) 第8回 (ケニア) (5/26、28) 取材地: 鳥羽市、伊勢市

国名	社名	記事等タイトル
ケニア	ケニア	包括的教育
		おばあちゃんダイバーが日本の海で狩りをする

平成28年6月20日

伊勢志摩サミット三重県民会議事務局

総務課

協賛、応援、寄附の実績について

協賛、応援、寄附の実績は、下記のとおりです。

協 賛			
			計 199 件
協賛の分類別内訳			
飲料の提供	21	クリーンアップ活動への参加	20
食品の提供	17	花いっぱい活動への参加	17
お菓子の提供	6	ポスター印刷費用の負担	17
物品の提供	59	外国語案内ボランティアの派遣	3
施設の貸与	9	その他	19
情報発信の協力	11		
協賛の主な活用事例			
<p>県民会議が実施する事業に対して、例えば次のような協賛をいただくことで、事業をより効果的かつ効率的に実施することができました。</p>			
<p>【開催 150 日前イベント (H27. 12. 27)】 松阪牛・いちご・バラの提供、まぐろ解体ショーの調理補助員の派遣等</p>			
<p>【第 2 回サミットフォーラム (H28. 1. 16)】 ボールペン・清涼飲料水・生け花の提供、会場の無償提供等</p>			
<p>【おもてなし大作戦キックオフイベント (H28. 2. 14)】 伊勢茶・ミネラルウォーター・清涼飲料水・振る舞いぜんざいの提供、ごみ袋・スタンド灰皿の提供等</p>			
<p>【花いっぱいスタートセレモニー (H28. 4. 2)】 しじみ等の提供及び振る舞いの調理員の派遣、菓子類・清涼飲料水・おにぎりの提供、会場の飾花及び講師の派遣等</p>			
<p>【第 3 回サミットフォーラム (H28. 4. 16)】 進捗管理システムの提供、エコグッズ・メモ帳・コスモス種子の提供、青さのり・伊勢茶の提供等</p>			
<p>【ジュニア・サミット (H28. 4. 22~28)】 海洋深層水・コーヒー・清涼飲料水・かぶせ茶・菓子類の提供、タオル・エコグッズ・メモ帳・シャンプー等の提供、施設の無償提供、救急箱の貸与等</p>			
<p>【子どもふるさとサミット (H28. 5. 14)】 麦茶の提供</p>			

【三重情報館(H28.5.24~28)】

千羽鶴・インスタント食品・ボールペン・清涼飲料水・萬古焼の酒盃・伊勢神宮写真集・仮想試着サービスシステム・多言語音声合成サービスシステム・デジタル情報スタンド・バラの提供、伊勢茶の振る舞いおよび要員の派遣、組子建具の無償貸与等

【三重のおもてなしバッグ(H28.5.24~28)】

施設入場券・ボールペン・メモ帳・マスク・おしぼり・菓子類・コーヒー・バス無料乗車証の提供等

【三重の高校生サミット(H28.6.12)】

清涼飲料水の提供

応 援			
			計 845 件
応援の分類別内訳			
ポスター掲示	124	応援商品	152
独自ポスター・看板	22	応援商品(売上一部寄附)	12
カウントダウン企画	32	応援ソング	6
記念キャンペーン	27	サミットPR	324
記念イベント・セミナー	104	三重の魅力発信	21
記念イベント(売上一部寄附)	2	その他	19

サミット応援商品の開発や、サミット応援セールの開催の他、講演会や演奏会でのサミットのPR、自社の店舗や施設でのサミット応援メッセージやポスター掲示によるPR等に取り組んでいただくことにより、広くサミットの情報を発信し、開催機運を醸成することにつながりました。

寄 附			
合計		994 件	525,660,282 円
内 訳	法人	605 件	499,377,271 円
	個人	141 件	25,470,538 円
	クラウドファンディング	248 件	812,473 円

募集開始当初は目標額を1億円以上と設定し、途中で2億円以上に上方修正しました。多くの方々からご支援をいただき、これらの目標額や、北海道洞爺湖サミットの寄附金額約2億8千万円を大きく超えることになりました。多大なご寄附をいただき、ありがとうございました。

※ クラウドファンディングは2月29日、協賛・応援は5月10日、寄附は5月31日で募集を終了しました。なお、それぞれの実施状況等を整理中であるため、実績値は変更になる可能性があります。

県民会議の取組を振り返って

伊勢志摩サミットの成功に向けて、伊勢志摩サミット三重県民会議では、市町、企業、関係団体等と連携し、「開催支援」に取り組むとともに、サミットを一過性に終わらせることなく、開催後の地域活性化につなげるため、「おもてなし」「明日へつなぐ」「三重の発信」を柱に、オール三重で取組を展開しました。

4つの柱(事業計画)	主な成果、課題
<p>開催支援</p> <p>(取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民懇話会 ・交通総量抑制対策に係る取組 ・弁当供給体制の整備 ・宿泊予約センター ・プレス来県時の移動支援 ・配偶者プログラムへの協力 ・公式行事に伴う歓迎交流 ほか 	<ul style="list-style-type: none"> ・警察や海上保安庁、地元4市町と連携して開催した住民懇話会等を通じて、警備等も含めたサミット開催に関する情報を住民の皆様提供し、サミット開催に対する理解を促進するとともに、住民の皆様が抱える不安解消を図ることができました。また、警備に関して、関係機関の連携に加え、地元住民のご協力をいただいたおかげで、逮捕者もゼロという結果を得ることができました。 ・交通規制に伴う一般交通への影響を最小限にとどめるため、テロ対策三重パートナーシップ交通対策推進ワーキンググループと連携して、オール三重で県下全域での交通総量抑制対策に取り組みました。皆様のご理解・ご協力により、高速道路でも渋滞は発生せず、大きな混乱は回避できたと聞いています。 ・弁当供給に関して、委託した2つの企業体及び小規模需要における地元の取組のいずれにおいても、警備、消防、医療、現地スタッフ等に対し、県産食材を活用した安全・安心で美味しい食事を計画どおり供給することができました。 ・歓迎行事において、首脳、配偶者ともに地元小学生が参画する機会を持つことができました。また、配偶者プログラムでは、県内高校生や海女などの参画のもと、交流の機会が実現できました。 ・熊本地震や米大統領の広島訪問などの影響により、警備関係者を中心に急な宿泊の取消や変更が発生してしまい、一部の宿泊施設の方にはご迷惑をおかけしました。 ・海外メディア関係者がセントレア・宿泊ホテル間を移動するにあたり、シャトルバスを運行しましたが、海外メディア関係者の来県者数が想定より大幅に少なかったことなどもあり、利用実績については少数にとどまりました。 ・各国首脳等と県民との交流「世界との絆づくり」については、各国大使館を通じて積極的に働きかけを行いました。日程が1泊2日と短く、到着県と開催県が異なるため、結果的に、G7首脳等と県民との交流があまり実施されませんでした。

<p>おもてなし</p> <p>(取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クリーンアップ作戦 ・花いっぱい作戦 ・外国語案内ボランティア ・サミットフォーラム ・カウントダウンボード ほか 	<ul style="list-style-type: none"> ・6万人を超える皆様が参加した「クリーンアップ作戦」や11万本以上の花により全県下を飾った「花いっぱい作戦」など、自治会をはじめ関係企業、団体等幅広い層の協力をえて「おもてなし大作戦」を全県的に展開し、サミットの歓迎機運及び県民の参加意識の向上を図りました。 ・国際メディアセンターや県内主要駅等における、外国語案内ボランティアによる交通や観光の案内、三重の情報発信等の支援を通じて、海外メディアの方がサミット期間中に円滑な取材・報道活動を行っていただくサポートができました。また、ボランティア応募者やホテル従業員等を対象にした外国人に対する接遇等の方法を学ぶ「おもてなし向上研修」を通じて、国際観光地としての三重県のレベルアップを図る機会となりました。 ・サミットフォーラムの開催を通じて、サミットへの理解を深め、県民の皆さまと共に「おもてなし」「明日へつなぐ」「三重の発信」などについて考え、行動を促し、開催機運を醸成する貴重な機会となりました。
<p>明日へつなぐ</p> <p>(取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジュニア・サミット ・国際理解・国際交流プログラム ・伊勢志摩サミット記念館 ・大学生・留学生との交流事業 ほか 	<ul style="list-style-type: none"> ・G7各国を代表する15歳～18歳の若者が集まり、議論した「2016年ジュニア・サミット in 三重」には、日本代表として4名の県内高校生が参加しました。また、参加者が県内12市町を訪問した視察や交流行事など、次代を担う子どもたちや多様な主体が参加する機会を設け、開催の経験を「明日へつなぐ」取組を展開しました。 ・「国際理解・国際交流プログラム」や外務省事業「イチからわかる！サミット塾」、IMC アネックスの一般公開を通じて、県内の子どもたちがサミット参加国について学ぶ機会を設け、国際的な感覚を身に付けるきっかけになりました。
<p>三重の発信</p> <p>(取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三重情報館 ・海外プレスツアー ・PR動画 ・ホームページ ・シンボルマークの制定 ・ポスター等によるPR ほか 	<ul style="list-style-type: none"> ・三重情報館では、「伝統と革新～“和”の精神」を基本コンセプトとし、記憶と心に三重県をしっかりと刻んでいただけるような展示を行い、来館者の好評を博するとともに、実演・出展等を通じて、県民、企業等の関係者がサミットに参画する機会となりました。 ・三重県が世界に誇る美しい自然などを強力に発信するため取り組んだ海外プレスツアーを通じて、海外での報道や記事での紹介をいただいたほか、新たなビジネスにつながった事例もありました。 ・伊勢志摩サミット三重県民会議を象徴するマークとして、三重県全体が一体となって活動を盛り上げていくため、近藤敦也さんに作成いただいた県民会議シンボルマークを多くの皆様に活用いただくことができました。 ・全5弾の県民会議公式ポスターの制作・掲出は、第1弾ポスターをはじめ全国レベルで好評であり、幅広く受け入れられました。

県民参加等の実績について

1 公式行事

(1) G7首脳伊勢神宮訪問

- ・ 園児達（神宮附属幼稚園）によるお出迎え 46名（外務省ホームページより）
- ・ 小学生（伊勢市、志摩市、鳥羽市、南伊勢町、大紀町、玉城町、度会町）による植樹のお手伝い 20名

(2) 配偶者プログラム

① 総理夫人主催昼食会（於：杉風荘（さんふうそう））

- ・ 相可高校の生徒・教員による食事の提供や交流等 11名
- ・ メニュー監修（懐石かみむら 上村 雅春料理長）

② 真珠島交流プログラム（於：ミキモト真珠島）

- ・ 海女によるお出迎えや交流 85名
- ・ 鳥羽市女将団体によるお出迎え 9名
- ・ 伊勢音頭保存会・「伊勢っ子」との踊りによる交流 41名
- ・ 鳥羽九鬼水軍太鼓保存会による演奏 8名
- ・ はあぶ工房 together によるシフォンケーキ、維雅幸育会ふっくりあモオンマールによる伊賀の飛猿サブレの提供
- ・ 通訳ボランティアによる通訳サポート 5名

③ 植樹（於：志摩観光ホテル ザ・クラブ敷地内）

- ・ 志摩市立神明小学校児童による植樹サポート 9名

④ 総理夫人主催夕食会（於：志摩観光ホテル ザ・クラブ「リアン」）

- ・ 若手バイオリニストの巽千夏さん（津市在住の中学生（13才））による演奏 1名

⑤ 国際メディアセンター（IMC）視察（於：IMC）

- ・ 伝統工芸士による伊賀くみひもの実演 1名
- ・ 県手もみ茶技術伝承保存会による伊勢茶手もみ実演と試飲 2名
- ・ 障がい者等とのパラスポーツ体験（伊勢市立四郷小学校生徒） 約50名
- ・ 通訳ボランティアによる竹細工ワークショップの通訳サポート 2名

2 三重情報館

- ・ 鈴鹿墨を使用した書のパフォーマンスと書の実演 5名
- ・ 県内35全ての蔵元（各1銘柄）からの日本酒の振る舞い 2名
- ・ 伊勢形紙の実演 1名
- ・ 伊賀忍者特殊集団「阿修羅」による忍者ショー 5名
- ・ 伊賀くみひもの実演 1名
- ・ 現役海女による講話と対話 2名
- ・ 伊勢茶と三重の餅菓子の振る舞い 2名

3 各国首脳等と県民との交流～「世界との絆づくり」～

(1) ベトナム首相による伊勢神宮訪問

- ・ フック首相のお出迎え、記念撮影等 約30名

(2) ベトナム閣僚による松阪市訪問

- ・ 小学生（松阪第一小学校）によるお出迎え 70名
- ・ 県民（小学生以外）によるお出迎え 約30名

(3) 英国首相同行プレスによる皇學館大学生との交流

- ・ 雅楽部学生による演奏や舞の披露 55名

4 ジュニア・サミット

- ・ 日本代表参加者（高校生） 4名
- ・ 討議に資する視察への参加（案内・交流） 県立四日市高等学校 9名
- ・ 県内分散型体験・交流行事への参加（案内・交流）（各地域の高校生） 28名
（4コース×7名）
- ・ 県内農業高校等による花のプランターづくり（180個） 141名
県立四日市農芸高等学校、県立久居農林高等学校、県立相可高等学校、
県立伊賀白鳳高等学校、県立明野高等学校、私立愛農学園農業高等学校
- ・ 開催日程中のハンドベル演奏 私立セントヨゼフ女子学園高等学校・中学校 32名
- ・ 県内分散型体験・交流行事でのおもてなし
鈴鹿墨のパフォーマンス 私立鈴鹿高等学校書道部 14名
まごの店での昼食のふるまい 県立相可高等学校食物調理科 19名
太鼓演奏 県立特別支援学校玉城わかば学園 31名
歓迎 141名
亀山市立関中学校 9名、松阪市立柿野小学校 21名、多気町立西外城田保育園 19名、
多気町立佐奈保育園 22名、県立上野高等学校 40名、明和町立みどり保育所 30名
お囃子演奏 亀山市立関小学校 17名
- ・ お別れセレモニーでの吹奏楽演奏等
県立白子高等学校吹奏楽部 30名
スタンド花作成 県立久居農林高等学校 3名
- ・ 参加者用名札（伊賀組紐）の作成
県立杉の子特別支援学校石薬師分校、県立特別支援学校伊賀つばさ学園 19名
- ・ マイ箸袋（さをり織り）の作成
県立稲葉特別支援学校、県立特別支援学校西日野にじ学園 25名
- ・ ウェルカムメッセージの作成（開発したまごごろ商品とともに）
県立相可高等学校生産経済科（万協製薬株式会社の協賛あり） 5名
- ・ KUWANA NIGHTでの桑名市民によるお出迎え 約2,000名
- ・ 桑名石取祭の祭車 13台
- ・ サポートデスクの設置（看護師・臨床心理士、リフレッシュコーナーの設置等）
- ・ 将棋体験 日本将棋連盟三重県支部連合会 プロ棋士を含む5名
- ・ 三重県出発の見送り（ホテルから県道まで600mを超える見送りの列）
県内高校生、通訳ボランティア、警備にあたった警察官、ナガシマリゾートスタッフ、
事務局スタッフ等

5 おもてなし大作戦

(1) クリーンアップ作戦

- ・ おもてなし大作戦キックオフイベントへの参加者 約700名
- ・ 市町における活動 29市町（6万人以上）※雨天中止の1町を含む
- ・ 企業、団体等による活動 34団体 ※キックオフイベントへの協賛等を含む
- ・ 東海二県一市と連携した活動 1,300名以上

(2) 花いっぱい作戦

- ・ スタートセレモニーへの参加者 約 300 名
- ・ 花の寄せ植え体験講座への参加者 1,000 名
- ・ 市町における活動 29 市町
- ・ 企業、団体等による活動 36 団体 ※スタートセレモニーへの協賛等を含む
- ・ 飾花数 11 万本以上

6 外国語案内ボランティア

- ・ 平成 28 年 5 月 20 日から 28 日にかけて、国際メディアセンターや県内主要駅等に設置されたインフォメーション等で活動。
活動者 339 名（企業・学校単位の協賛事業として派遣された職員・生徒 62 名含む）。
※このほか、配偶者プログラム等、その他のサミット関連事業でも活動
- ・ ボランティアのユニフォームのデザイン考案 県立飯野高等学校 2 名

7 協賛、応援、寄附の実績

協賛 199 件、応援 845 件、寄附 994 件・525,660,282 円

8 伊勢志摩サミットフォーラム

- ・ 第 1 回（志摩市）参加者 300 名
- ・ 第 2 回（鈴鹿市）参加者 600 名
- ・ 第 3 回（津市）参加者 650 名

9 懸垂幕・横断幕の設置

サミット開催 150 日前より、県内市町、各県庁舎計 40 ケ所に懸垂幕・横断幕を掲出

10 多様な主体における国際理解・国際交流事業

(1) 国際理解・国際交流プログラム

平成 27 年度 91 回実施

内訳：北勢 40 回、中南勢 17 回、伊賀 8 回、伊勢志摩 25 回、東紀州 1 回

(2) 外務省事業「イチからわかる！サミット塾」

平成 27 年度 29 校で実施

内訳：北勢 9 件、中南勢 2 件、伊賀 4 件、伊勢志摩 12 件、東紀州 2 件

11 海外プレスツアー

計 22 回の海外プレスツアーを実施し、36 の国と地域のメディアが参加
(県内 18 市町を取材)

※計 22 回には、県民会議主催以外に、外務省等の他団体主催分を含めています。

12 伊勢志摩サミット三重県民会議公式ポスター

- ・ 第 3 弾 県内応募件数 13 件（※全応募数 22 件）

〔内訳：津市 3 件、四日市市 3 件、いなべ市 2 件、鳥羽市 2 件、玉城町 2 件、伊賀市 1 件〕

- ・ 第 4 弾 県内応募件数 14 件（※全応募数 31 件）

〔内訳：津市 5 件、伊勢市 3 件、四日市市 2 件、鈴鹿市 1 件、松阪市 1 件、伊賀市 1 件、鳥羽市 1 件〕

平成28年6月20日
伊勢志摩サミット三重県民会議事務局

伊勢志摩サミット終了後の取組について

1 伊勢志摩サミット終了後の取組

(1) サミット終了後の県民等へのメッセージ

サミット終了後に、県民をはじめ、様々なご支援・ご協力をいただいた幅広いステークホルダーの皆さんに対して、これまでのご支援やご協力に対する御礼と、サミット開催の受入・準備で培った数多くのレガシーを今後の三重県づくりに生かす「今後への呼びかけ・宣言」について、ポスター・新聞広告・県政だよりみえの3つの媒体を用いて、県内に発信しています。

○県民会議第5弾公式ポスター（平成28年5月30日に発表）※別添1参照

県民へのメッセージに加えて、県民の様々なサミットに向けた活動や県民会議の取組を表現する写真素材の活用を中心としたデザインで構成。

○新聞広告（平成28年5月28日に掲載）※別添2参照

読売・朝日・毎日・日本経済・産経・中日・伊勢新聞の東海版朝刊（全5段、モノクロ）に、県民等へのメッセージ、県民会議の取組やサミット当日の写真を掲載。

○県政だよりみえ増刊号（平成28年6月26日に発行予定（新聞折込））

タブロイド判2ページ（表/裏）に、県民へのメッセージや、県民会議の取組の写真等を掲載。

(2) IMCアネックスの公開

サミットの現場を、次世代を担う県内小・中・高等学校生をはじめ、県民の皆さまに肌で感じていただくため、サミット終了後の平成28年5月30日（月）から6月10日（金）まで、IMC仮設施設（以下、IMCアネックス）を部分的に公開しました。

○公開施設

IMCアネックス1階（政府広報展示スペース、三重情報館、ダイニングスペース）

IMCアネックス2階（ブリーフィングルーム）

○対象・公開期間

・県内小・中・高・特別支援学校の児童・生徒2,424名（引率者含む）

平成28年5月30日（月）～6月10日（金）（平日のみ）9:00～16:00

・子どもふるさとサミット参加者及び三重の高校生サミット参加者103名（保護者含む）

平成28年6月4日（土）9:00～14:00

・一般県民等 1,040名

平成28年6月4日（土）13:00～16:00、5日（日）9:00～16:00

(3) 伊勢志摩サミット記念館（仮称）

サミットの足跡を後世に伝えるとともに、子どもたちに学習の機会を提供するため、サミットの様子や使用された調度品・県産材等の紹介を行う伊勢志摩サミット記念館（仮称）を設置します。

- 設置時期：サミット開催1年後（平成29年5月）まで
- 設置場所：サミット開催の記念となり、既存の建物を活かすとともに、アクセス的にも優れた場所を念頭に選定
- 運営主体：記念館を設置する市町において運営及び運営にかかる費用を負担
- 展示内容：調度品・県産材の紹介の他、動画の活用等、動的な要素も盛り込む

(4) 大学生・留学生との交流事業

サミットの開催成果を確かな資産として「明日へつなぐ」ため、県外の大学生や留学生等が三重に集い、県内の大学生や留学生等とともに、サミットに関係するテーマ等について討議を行う大学生版のサミットを開催し、サミット開催地・三重県が次世代グローバル人材育成の地となることを目指します。

- 開催日：平成28年8月31日（水）～9月3日（土）
- 開催場所：伊勢市及び南伊勢町
- 取組内容：サミット関連テーマ等に関する討議・発表
討議に資する現場体験・学習 等
- 参加者：首都圏を中心とする県外の大学生、大学院生、留学生
県内の大学生、大学院生、留学生
- 参加人数（予定）：100人程度

(5) 国際理解・国際交流プログラム

サミット開催を契機に、次世代を担う子どもたちが、サミット参加国について理解を深めるとともに、国際的な視野や感覚を身に付けるきっかけとするため、平成27年度に引き続き「国際理解・国際交流プログラム」を実施します。平成28年度は、県内の小学校・中学校・高等学校・特別支援学校を対象とし、授業等にサミット参加国出身の在住外国人や留学生等、サミット参加国に詳しい方々を講師として派遣します。

- 実施予定期間：平成28年6月6日～9月30日（全30回）
学校別 小学校19回、中学校6回、高等学校1回、特別支援学校4回
地域別 北勢17回、中南勢7回、伊賀3回、伊勢志摩2回、東紀州1回
- （注）平成28年4月14日（木）～5月11日（水）に募集し、56回分の応募がありました。

(6) 伊勢志摩サミット記録誌

サミットの記憶を後世に引き継ぐとともに、サミット後の県や市町の施策展開や民間企業等の取組に役立てるため、サミットの準備段階から開催までの経過、県民会議や県、市町の取組等を編さんし、記録誌として刊行します。

平成28年内をめどに発行し、サミットへのご支援、ご協力をいただいた方々や関係機関の方々へ配布する予定です。

2 伊勢志摩サミット三重県民会議の今後のスケジュール

各事業の事業費等について、ある程度見通しが立った時期（8月から9月頃を想定）に部会を開催し、県民会議予算の決算見込と併せて、県民会議決算時において残余となる金額に係る基金設置の議論を行う予定です。その後、適切な時期（11月から12月を想定）に県民会議の決算を行うべく、部会及び役員会を経たうえで、総会において決算を審議いただく予定です。

なお、県民会議については、総会で決算の承認がなされたうえで解散手続となります。

○会議開催スケジュール案

・8月～9月

企画運営部会：決算見込、基金の設置方針

・10月～11月

企画運営部会：決算及び基金の設置案審議

事業推進部会：取組状況の報告（記念館、記録誌、大学生・留学生との交流事業等）

役員会：決算及び基金の設置案審議

総会：決算の審議、県民会議解散手続、基金の設置の報告

伊勢志摩サミットへのご支援とご協力 ありがとうございました。

皆さまのご協力により、伊勢志摩サミットは大きな成果とともに無事閉幕しました。
三重県ではこの成果を明日へとつなぐために、サミット閉幕後も様々な事業の展開を予定しています。
これからもご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

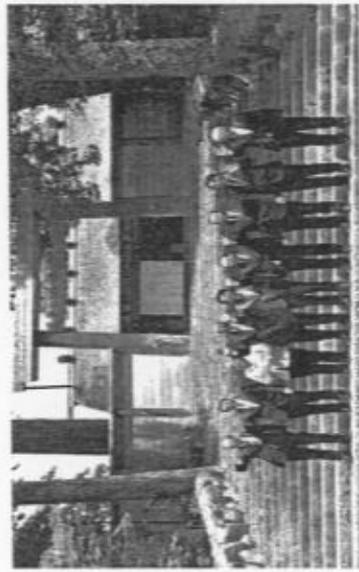


つぎの三重へ、つぎの明日へ。





伊勢志摩サミットへのご支援とご協力、ありがとうございました



三重県民の皆さまをはじめ、全国の企業や団体の皆さま等からの温かいご支援とご協力のおかげで、伊勢志摩サミットは、大きな成果とともに、無事閉幕しました。心から感謝を申し上げます。おもてなし大作戦、感謝・応援・寄附、外国語案内ボランティア、ジュニア・サミットなど様々な機会を通じて、産・学・民・官が一体となり、素晴らしい力を発揮できたことは、私たち全員の誇りです。



伊勢志摩サミット三重県民会議員
三重県知事 鈴木 英敬

三重県では、伊勢志摩サミットの遺産(レガシー)を三重の未来に生かしていくため、サミットを契機とした様々な事業を展開していきます。引き続き皆さまのご支援とご協力をよろしくお願いいたします。



様々な場面で活躍した外国語案内ボランティア



10か国18地域のフリスからの製材を築いた
藤村フリスアート



G7各国の若者28人の積極的、地元との交流を
深めたジュニア・サミット



地域の皆さまが一堂とらなっており、お話し
行っ大歓迎行事



三重県内東29市町で取り囲まれ、
11万本以上の花が飾られた「花いっぱい作戦」



6万人以上の方々に夢思いを伝えた
「ウレシクサマミット」

—— つぎの三重へ、つぎの明日へ ——

